



チャレンジ!~若き福大OB・OG、その道の途中から~
九州朝日放送アナウンサー **近藤鉄太郎**さん
チャンスのしっぽを
つかむということ。

地域へ、世界へ。Vol.2
「3大学合同シンポジウム」開催
Far East—Far West
真摯な学術交流と温かな心の交流が
FUKUOKAで花開いた。

OB・OGメッセージ 私のチャレンジ4年間
福岡大学で鍛えられた、
専門知識と技術が
結局は最強の武器になる。
応える、答える! No.2 大学環境編

FDNEWS
平成18年度 入学試験要項決定!
夢入手を伸ばす日々—福大生たちのグラフィティ
自分のがんばりが、
人へのチアになる。

行動。
始めなければ
何も始まらない。

福岡大学
「なにこれ?キーワード」

参加

授業アンケート

Faculty Development:ファカルティ・ディベロップメント。略してFD。学園通信の愛称と同じです。こちらは、授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取り組みの総称です。そのFD活動を推進している全学的組織がFD推進委員会。福岡大学は学生の視点に立った教育改革を推進しています。「授業アンケート」はその一環です。詳しくは今号の6〜9ページをご覧ください。

皆さんが今、福岡大学に対してなにを望んでいるか。自分の夢や目標や将来のために、福岡大学で何ができるか。何をしたいか。それを正確に知ることから教育改革は始まります。大学と学生が相互理解を深め、その中でより良い選択をしていくのが「大学教育」の基本だと言えます。

つまり、皆さんの「参加」がすべての始まりなのです。

大学を有効に活用しながら、主体的に学生生活を送ってください。

表紙のタイトル

FIDは、このキャンパスで在学生の皆さん一人ひとりが、美しく
素敵な夢(FINE DREAM)を育んでくれるように
との願いを込めるとともに、あわせてFUKUOKA DAIGAKU
の頭文字を構成し、愛称として名付けられています。



このマークは、大学基準協会が
大学基準に適合していると認定
した大学に対して与えるものです。

【建学の精神】
思想堅実・穩健中正・質実剛健・積極進取

【教育研究の理念】
「人材教育」と「人間教育」の共存
「学部教育」と「総合教育」の共存
「地域性」と「国際性」の共存

CONTENTS

- 22 **「梅雨、鬱々(うつうつ)とした天気のように。」**
「コラム」ヘルシーモーニングレシビ「からだにいいヨーグルトサラダ」

- 21 **平成17年度 福岡大学特待生が決定**
ハート・ダイアリー
- 20 **長い間、くろうさまでした。そして本当にありがとう**
新刊本紹介 福大生に「二冊」！
- 18 **自分のがんばりが、人へのチアになる。**
TOPICS「定年退職者・名誉教授一覧」
チャリダー部

- 17 **OB・OGメッセージ**
私のチャレンジ4年間
- 14 **チャレンジ！若き福大OB・OG、その道の途中から、**
九州朝日放送アナウンサー **近藤鉄太郎さん**
チャレンジャー！
- 12 **誌上特別講座**
「これならわかる！研究推進部の研究」
◎産業廃棄物の処理に関する統合システムの研究
◎臨床鍼灸の科学的診断・治療システムの構築
- 10 **応える、答える！ No.2 大学環境編**
◎「コラム」2枚の写真から「福岡大学の今、あの頃」イベントスケジュール
- 6 **2004年度前期「授業アンケート」報告**
全体としては、授業に対して肯定的な評価
授業改善への努力が少しずつ実を結ぶ
- 2 **「FD. NEWS」**
平成18年度 入学試験要項決定！

- 32 **あの日、あの時。**
禁煙への前向きな気持ちの後押し。
さあ、みんなで頑張りましょう。
「コラム」2枚の写真から「福岡大学の今、あの頃」イベントスケジュール
- 30 **地域へ、世界へ。「3大学合同シンポジウム」開催**
真摯な学術交流と温かな心の交流が
FUKUOKAで花開いた。
- 28 **情報化基本構想プロジェクト4**
人に優しい情報環境の実現を目指して
◎図書館システム編
◎教育研究システム編
- 26 **行・見る、歩く、利用する**
くるくる福大キャンパス
A棟・国際交流会館
- 24 **ななくま通信**

AA- 学校法人福岡大学が「AA-」の格付けを維持

学校法人福岡大学は、外部評価の一環として、株式会社格付投資情報センター(R&I)から昨年に引き続き発行体格付け「AA-」(ダブルAマイナス)を取得しました。これは、21段階ある格付けの上から4番目という高い評価であり、本学の歴史や伝統、健全な財政運営に基づいた教育研究・医療における様々な取り組みが総合的に高く評価されたものです。

本学は、この高い評価を維持・向上させるため、今後も教学と経営の一層の充実と、教育力の高い魅力ある学園づくりを目指します。



表紙の言葉



「行動。始めなければ、何も始まらない。」

たとえば目の前に崖があった。さあ、どうするか。薩摩人はこう叫ぶといひます。「泣こかい、翔ばかい、泣こよか、ひっ翔べ!!」。初めてのことに誰かがためらう。心地よい現状からの脱出はとても難しい。でも初めてを始めなければ何も変わりません。何もしないより挑戦した方がいい。「泣こよか、ひっ翔べ!!」。それは若さの特権です。

福岡大学の ある風景 福西戦

両校の学生たちと未来に熱いエールを。



▲熱い応援に華をそえるチアの活躍は18ページにて詳しく紹介

正式には「九州六大学野球春季リーグ戦対西南学院大学応援合戦」。新入生が入学して間もない4月に開催されます。さまざまな意味での好ライバル、西南大との応援合戦を経験することで愛校心が芽生えた人も多いでしょう。この応援合戦の歴史は1949年にさかのぼります。記念すべき第1回はその年の11月23・24・26日、場所は西鉄春日原駅近くにあった春日原球場。当時は「両大学新聞部共催・第回西南学院対福岡商科大学定期野球大会」という名称でした。両大学の新聞部が主催して行われたのです。福岡大学はまだ、福岡商科大学の時代でした。試合は7-3で福岡商大の勝利でした。それから半世紀以上の歳月が過ぎ、そして今年も福西戦は行われたのです。これから半世紀が過ぎた後も行われていきますように。福岡大学と、そして西南学院大学の未来にエールを。

平成18年度 入学試験要項決定!

平成17年度の改革点を踏まえ、さらに受験生の立場にたった深化と進化を。平成18年度の入学試験要項発表に合わせ、今泉入学センター長に話を聞きました。



今泉 博国 入学センター長
(経済学部教授)

好意をもって迎えられた 平成17年度の一般入試改革

平成17年度は「受験する皆さんの受験の可能性と機会を広げる」ことを目的として、一般入試の改革を行いました。主な改革点は以下のとおりです。

- 6地区(広島・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)で本学と同一日程入試を実施
- 8学部(医学部を除く全学部)で同一学科併願を可能に
- 医学部では試験場に大阪を加え、本学・東京との3地区で実施
- 薬学部では、医療薬学科と生命薬学科の併願を可能に
- スポーツ科学部では面接をなくし、スポーツ科学科と健康運動科学科の併願を可能に。さらに健康運動科学科では、実技試験を小論文・書類選考に変更
- 理学部では、後期日程入試(2科目試験)を導入
- センター試験利用入試の学科をさらに増やし、7学部22学科で導入

B方式推薦入学やAO入試は、高校教育科目の成績にあまりとられない「個性の発掘」を目的として、本学がいち早く実施してきた制度です。

また、大学入試センター試験の利用は、広範囲な実力・能力を持つ人材を発掘する上で、とても重要なものだと思います。

ですから、時に批判を受けることもありますが、本学の入試教科・科目は多くなくなっているのです。

世代と国・地域、時間的・空間的に 多様で広い門戸としたい

現在展開している入試制度の特徴を言えば「時間・空間の拡充」機会の拡充です。『あの時、福岡大学を受験すれば良かった』あるいは『福岡大学の、あの学科を受験することができていたら...』などという後悔をできるだけ少なくしていただきたいのです。

少し将来的なビジョンになりますが、福岡大学は「世代を超え、国・地域を越え、時間的にも空間的にも多様で広い門戸」を開いている存在になりたいものです。たとえば、社会人入試の改革による「世代の拡充」、留学生・帰国子女入試の改革による「国・地域の拡充」が課題です。なんといつても、一人ひとりの人間の可能性は無限なのです。大学はその可能性にできる限り応えるべきだと考えています。



さらに受験生の可能性と 機会を広げる改革を推進

平成18年度は、この結果を踏まえ、さらに「多様で多様な能力を有する受験生の可能性を拓き、機会を広げる」方針で、従来のシステムに加え、若干の改革を進めます。具体的には

- 推薦入学(専願制)指定校制度枠の拡充(工業・商業高校、他)
- AO入試(専願制)の商学部導入(人文学部・法学部・スポーツ科学部と合わせ4学部)
- センター試験利用入試を理学部応用数学科でも導入
- 薬学部6年制導入と併せて、募集人員の増加(180人から230人に申請予定)などです。



入試広報のさまざまな活動を さらに充実させていきたい

システムばかりを改革・充実させても、それが一般に広く知られなければ意味がありません。入学センターでは、本学で進められているキャンパスT化構想と歩調を合わせ、Webの利用などを中心に、広報活動をさらに充実させていきたいと思っています。また、オープンキャンパスや模擬講義の充実など、対面型の情報発信も行っていきたいと思っています。

この8月には、私学と国立大学との垣根を越え、同じ総合大学として九州大学と一緒合同説明会を熊本・鹿児島・広島で開催します。これは大変に画期的なことですし、その成果を期待しています。





平成18年度 募集人員

学部・学科	入学定員	推薦入学等	AO入試	大学入試センター試験利用入試	一般入試	平成17年度一般入試合格者
人文	文化	90	28	10	52	220
	歴史	60	19		5	36
	日本語 日本文	60	19		41	175
	英語	80	25		8	47
	ドイツ語	45	14		5	26
	フランス語	45	14		5	26
	東アジア 地域言語	60	20		3	37
法	法律	450	140	20	25	前期235 後期 30
	経営法	200	60	10	10	前期110 後期 10
経済	経済	450	149		30	前期231 後期 40
	産業経済	200	66		15	前期 89 後期 30
商	商	230	65	5	10	前期130 後期 20
	経営	220	60	5	10	前期125 後期 20
	貿易	200	55	5	10	前期110 後期 20
商学部第二部	200	45		5		前期100 後期 50

※薬学部は、医療薬学科と生命薬学科の2学科を再編し、新たに6年制の薬学科を設置する予定です。
また、入学定員についても表のとおりに変更する予定です。

募集人員について

- 推薦入学等にはA・B方式のほか、指定校推薦入学、スポーツ特別推薦入学、附属推薦入学の募集人員を含みます。
- 一般入試には前期・後期日程のほか、帰国子女入試、社会人入試、スポーツ科学部特別募集、学部留学生入試のそれぞれ若干人を含みます。
- 募集人員は、志願状況によって多少変動することがあります。

学部・学科	入学定員	推薦入学等	AO入試	大学入試センター試験利用入試	一般入試	平成17年度一般入試合格者
理	応用数	60	18		5	37
	応用物理	60	18		5	37
	化	60	18		5	37
	地球圏科	60	18		5	37
工	機械工	100	30		5	65
	電気工	100	30		5	65
	電子 情報工	140	42			98
	化学 システム工	100	30		5	65
	社会 デザイン工	100	30		10	60
医	建築	100	30			70
	医	100	25			75
薬	※ 薬	230	70		17	143
	医療薬学科 生命薬学科					207 218
スポーツ科	スポーツ科	170	85	30		55
	健康 運動科	60	30	5		25

平成18年度 入試日程

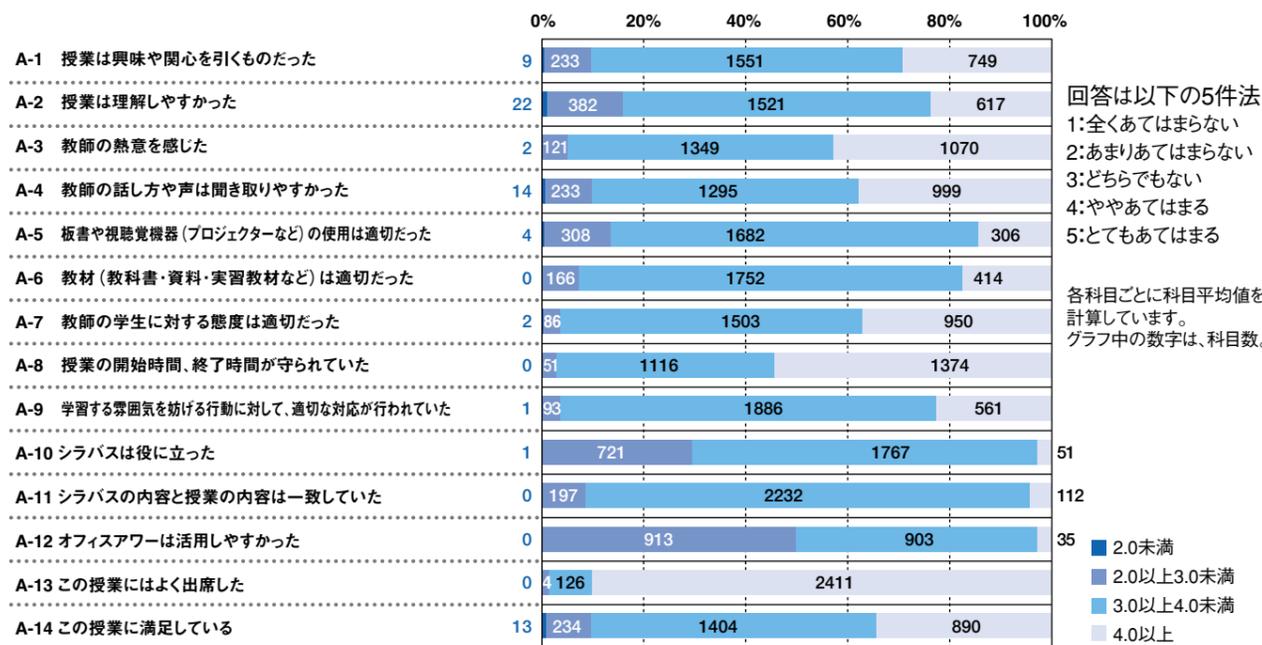
入試制度	実施学部(学科)	出願期間(必着)**	試験日等	試験地	合格発表日	入学手続締切日	
AO入試	人文(文化)	論文・グループ ディスカッション	8月 6日(土)～ 8月22日(月)	8月26日(金) (申込みは当日も可)	本学(福岡)	—	
			9月 5日(月)～ 9月15日(木)	一次選考 9月28日(水) 二次選考10月 8日(土)	— 本学(福岡)	一次合格10月 3日(月) 二次合格10月21日(金)	
	法	論文・グループ ディスカッション	8月 6日(土)～ 8月22日(月)	8月26日(金)	本学(福岡)	—	
			9月 5日(月)～ 9月15日(木)	一次選考 9月27日(火) 二次選考10月15日(土)	— 本学(福岡)	一次合格10月 3日(月) 二次合格10月21日(金)	
	商	公開練習会	7月20日(水)～ 8月 1日(月)【前半】 8月19日(金)【後半】	8月 9日(火)・30日(火) 9月 3日(土)	本学(福岡)	—	
		特別講座	9月 5日(月)～ 9月15日(木)	8月10日(水)・29日(月) 一次選考 9月28日(水) 二次選考10月11日(火)	— 本学(福岡)	一次合格10月 3日(月) 二次合格10月21日(金)	
公 募 推 薦	A方式	人文・法・経済・商・商二・理・工・医・薬 スポーツ科	11月 1日(火)～ 11月10日(木)	11月27日(日) 11月21日(月)・22日(火)	本学(福岡)	12月 6日(火)	
	B方式	経済・工(社会デザイン工)		11月26日(土)	—	一次合格10月21日(金) 二次合格11月 8日(火)	
	スポーツ 特別推薦	人文・法・経済・商・商二・理・工・スポーツ 科	10月 1日(土)～ 10月 7日(金)	一次選考10月19日(水) 二次選考11月 4日(金)	— 本学(福岡)	一次合格10月21日(金) 二次合格11月 8日(火)	
指定校推薦	人文(文化・歴史・ドイツ語・フランス語・東アジア 地域言語)・法・経済・商・商二・理 スポーツ科(健康運動科)	11月 1日(火)～ 11月 7日(月)	11月19日(土) 11月22日(火)	本学(福岡)	12月 6日(火)		
大学入試 センター試験 利用入試	人文(歴史・英語・ドイツ語・フランス語・東アジア 地域言語)・法・経済・商・商二・理・工(機械工・ 電気工・化学システム工・社会デザイン工)・薬	1月 6日(金)～ 1月20日(金)	大学入試センター試験 1月21日(土)・22日(日)	—	2月23日(木)		
一 般 入 試	前期日程	人文(歴史・フランス語)・法(法律)・商(貿易)・ 理(応用数・地球圏科)	1月 6日(金)～ 1月20日(金)	2月 4日(土)	本学(福岡) 広 島 長 崎 本 分 館 大 宮 鹿 児 島	2月23日(木)	
		人文(英語・東アジア地域言語)・法(経営法)・ 商(商)・理(応用物理・化)		2月 5日(日)			
		人文(文化・日本語日本文・ドイツ語)・商(経営)・ 工(機械工・電子情報工・社会デザイン工)・薬		2月 6日(月)			
		経済(産業経済)・商二・工(電気工・化学シス テム工・建築)スポーツ科(健康運動科)		2月 7日(火)			
		経済(経済)		2月 8日(水)			
		スポーツ科(スポーツ科)		2月 8日(水)・9日(木) 2月11日(土)・12日(日)			
	後期日程	医	2月23日(木)～ 3月 2日(木)	2月11日(土)・12日(日)	本学(福岡) 東 大 京 大 阪 高 松 廣 島 長 崎	本分 館 大 宮 鹿 児 島 那 覇	3月17日(金)
		法・経済・商・商二・理		2月11日(土)			
		法・経済・商・商二・理		3月 9日(木)			
		スポーツ科学部 特別募集		3月 9日(木)			
帰国子女入試	人文・法・経済・商・商二・理・工・薬 スポーツ科	11月 1日(火)～ 11月10日(木)	11月26日(土) 11月22日(火)	本学(福岡)	12月 6日(火)		
社 会 人 入 試	前期 日程	人文・法・経済・商・商二・工(機械工・社会デ ザイン工)	11月 1日(火)～ 11月10日(木)	11月26日(土) 11月22日(火)	本学(福岡)	12月 6日(火)	
	後期 日程	法・経済・商・商二・薬	2月23日(木)～ 3月 2日(木)	3月 9日(木)	本学(福岡)	3月17日(金)	
学 編 ・ 士 入 試	前期 日程	法・経済・商・商二・工(機械工・化学シス テム工)・薬	9月20日(火)～ 9月29日(木)	10月 8日(土)	本学(福岡)	10月21日(金)	
	後期 日程	人文・法・経済・商・商二・理・工・薬・スポ ーツ科	2月23日(木)～ 3月 2日(木)	3月 9日(木)	本学(福岡)	3月17日(金)	
学部留学生入試	人文・法・経済・商・理・工・医・薬・ スポーツ科	12月22日(木)～ 1月 4日(水)	2月 2日(木)	本学(福岡)	2月23日(木)		
附属看護専門 学校入試	附属看護専門学校 看護専門課程	11月24日(木)～ 12月 2日(金)	12月17日(土)	本学(福岡)	1月19日(木)		

※一般入試前期日程・大学入試センター試験利用入試の出願は締切日消印有効



各質問項目の科目平均値の分布 (科目数)

質問項目 (5件法 1:全くあてはまらない 2:あまりあてはまらない 3:どちらでもない 4:ややあてはまる 5:とてもあてはまる)	2.0未満		2.0以上3.0未満		3.0以上4.0未満		4.0以上		合計		科目 平均値の 平均	前回 (2003年後期) の科目平均値 の平均
	科目数	%	科目数	%	科目数	%	科目数	%	科目数	%		
A-1 授業は興味や関心を引くものだった	9	0.4	233	9.2	1551	61.0	749	29.5	2542	100.0	3.68	3.64
A-2 授業は理解しやすかった	22	0.9	382	15.0	1521	59.8	617	24.3	2542	100.0	3.56	3.53
A-3 教師の熱意を感じた	2	0.1	121	4.8	1349	53.1	1070	42.1	2542	100.0	3.86	3.84
A-4 教師の話し方や声は聞き取りやすかった	14	0.6	233	9.2	1295	51.0	999	39.3	2541	100.0	3.77	3.76
A-5 板書や視聴覚機器(プロジェクターなど)の使用は適切だった	4	0.2	308	13.4	1682	73.1	306	13.3	2300	100.0	3.47	3.42
A-6 教材(教科書・資料・実習教材など)は適切だった	0	0.0	166	7.1	1752	75.1	414	17.8	2332	100.0	3.60	3.57
A-7 教師の学生に対する態度は適切だった	2	0.1	86	3.4	1503	59.1	950	37.4	2541	100.0	3.84	3.83
A-8 授業の開始時間、終了時間が守られていた	0	0.0	51	2.0	1116	43.9	1374	54.1	2541	100.0	3.99	3.95
A-9 学習する雰囲気や行動に対して、適切な対応が行われていた	1	0.0	93	3.7	1886	74.2	561	22.1	2541	100.0	3.66	3.65
A-10 シラバスは役に立った	1	0.0	721	28.4	1767	69.6	51	2.0	2540	100.0	3.16	3.08
A-11 シラバスの内容と授業の内容は一致していた	0	0.0	197	7.8	2232	87.8	112	4.4	2541	100.0	3.36	3.34
A-12 オフィスアワーは活用しやすかった	0	0.0	913	49.3	903	48.8	35	1.9	1851	100.0	3.04	2.91
A-13 この授業にはよく出席した	0	0.0	4	0.2	126	5.0	2411	94.9	2541	100.0	4.43	4.36
A-14 この授業に満足している	13	0.5	234	9.2	1404	55.3	890	35.0	2541	100.0	3.74	3.72



2004年度前期「授業アンケート」報告

全体としては、授業に対して肯定的な評価
授業改善への努力が、少しずつ実を結ぶ。

全学規模での「授業アンケート」

本学の授業に対して、学生の皆さんによる「授業アンケート」を、昨年6月末から7月初旬にかけて行いました。前期あるいは後期のみに開講している科目もあり、2003年度後期と今回の調査で、1年間の全授業を対象としたアンケートを実施した形になります。(一部科目は別形態で実施しました。)

学生の皆さんには、2003年度後期に続いて、大規模アンケートに協力していただきました。ご協力に感謝いたします。対象科目総数2,953科目、対象教員総数772人、授業登録者数延べ21万2,943人を対象としました。このうち、教員の89%、対象科目の86%において調査が行われました。

アンケートは2003年度後期とほぼ同様の形式です。無記名で、14項目の全学共通質問項目、授業形態ごとの独自質問項目、自由記述などから成っています。ここでは、全学共通項目についてご報告します。また、2003年度後期と比較しながら、分析します。

分析結果

全学共通質問項目は、1から5までの数字で回答します。数字が大きいほど良い評価になります。集計にあたっては、各科目ごとにこの数字を集計し、平均値を算出しました。これを科目平均値としています。このような形で集計することによって、各科目の検討課題が把握しやすくなります。全体的には、A-10、A-12の2項目を除けば、科目平均値が3以上の科目が大部分を占めます。科目平均値が3以上であることは、学生さんからの授業の評価が肯定的であることを示します。これは前回調査とほぼ同様の結果です。全体

としては、本学の授業に対して肯定的に評価されていると考えてよいでしょう。

A-14は、授業での満足度を問う質問です。学生から見た授業の印象を決定づける重要な項目です。この項目をみると、約9割の授業で肯定的評価を得ています。科目平均値が3に満たない科目とは、学生の多くが否定的評価をしていることになり、割合として少ないものの、このような科目はゼロにしなければなりません。

科目平均値3未満の科目の割合は、2003年度後期と比較すると、全項目で減少しています。後期科目と前期科目とを単純に比較することには慎重でなければなりません。前回調査よりも否定的評価を受けた科目の割合が減少していることになりました。

各項目ごとの数値は、全体的には前回調査とほぼ同等の結果となっています。全学レベルで見ると全項目で前回より数値が上昇しています。全体的な授業改善が、少しずつではありますが進んでいると考えられます。

回答率から見た出席状況

アンケートの回答率は、各科目の登録学生数に対する回答者の割合です。調査時点での出席率とほぼ等しくなります。調査を実施した科目の、延べ登録者数に対するアンケート回答総数の割合でみると66%(前回56%)になりました。各科目ごとの回答率の全学平均は76%(前回67%)です。前期科目と後期科目を比較する形になります。前期科目の試験結果によって後期の出席に影響を与えたり、就職活動が盛んになることを考えると、概にはいえませんが、前期科目の方が出席率は高くなっています。

各学部等でのファカルティ・ディベロップメントの取り組み

授業アンケートの結果を受けて、各学部、センター等では、教育マネジメントサイクルと呼ばれるファカルティ・ディベロップメントの活動を開始しています。アンケートの結果に基づいて教育システムやカリキュラムの改善を進め、さらにそれを検証していくという一連の活動を行っています。これらの活動は教員の中で行われるものが大部分ですが、学生の皆さんからは見えにくい部分ですが、次第に実感できるような変化として結実するものと期待しています。

全学での教育システムの改善

授業環境については、引き続き、全学的見地から分析し、環境の整備に努めていきます。また、GPA制度と呼ばれる成績評価制度の導入を検討しています。この制度は、授業成績の評価の厳密性・透明性を高め、学生の授業に対する動機づけを向上させることが期待されています。同時に教員にも、これまで以上に、教育活動や学生の評価に責任を持たせる制度です。今後は、各学部、センター等のファカルティ・ディベロップメントの活動を、学生の皆さんにもっと知ってもらうために、より積極的な情報提供を行っていきます。

法学部では、授業内容方法及び環境等の改善に向け、教員による具体的改善及び学部による改善施策に直結するよう、2004年度前期及び後期に独自の授業アンケートを行いました。大学の本旨及びアンケートの特性等に適合しつつ学生の意見・提案等を十分に生かすことを目標とし、本報告のような平均値等の数的処理は行いません。アンケート結果分析及び改善の取り組みについては、学部FD委員会により検討し、法学部ホームページ等で報告します。

福岡大学FD推進委員会

授業種別ごとの科目平均値の平均

	スポーツ学部専門科目(講義)					スポーツ学部専門科目(実技)					総合教養科目				
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
A-1	3.60					4.11					3.41				
A-2	3.38					4.08					3.25				
A-3	3.74					4.20					3.64				
A-4	3.62					4.10					3.63				
A-5	3.44					集計除外					3.37				
A-6	3.50					集計除外					3.37				
A-7	3.60					4.07					3.64				
A-8	3.84					4.13					3.95				
A-9	3.61					3.89					3.47				
A-10	3.07					3.22					3.11				
A-11	3.21					3.39					3.34				
A-12	2.96					3.11					2.87				
A-13	4.23					4.38					4.34				
A-14	3.61					4.15					3.43				

授業種別ごとの科目平均値の平均

	全学平均					人文学部専門科目				
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
A-1	3.68					3.82				
A-2	3.56					3.64				
A-3	3.86					4.07				
A-4	3.77					3.94				
A-5	3.47					3.55				
A-6	3.60					3.72				
A-7	3.84					4.02				
A-8	3.99					4.10				
A-9	3.66					3.77				
A-10	3.16					3.34				
A-11	3.36					3.53				
A-12	3.04					3.09				
A-13	4.43					4.39				
A-14	3.74					3.86				



	生涯スポーツ論					生涯スポーツ演習					共通教育科目(英語)				
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
A-1	3.70					4.07					3.53				
A-2	3.60					4.08					3.57				
A-3	3.97					4.20					3.81				
A-4	3.82					4.25					3.71				
A-5	3.42					集計除外					3.46				
A-6	3.41					集計除外					3.67				
A-7	3.71					4.19					3.83				
A-8	4.06					4.18					4.03				
A-9	3.66					3.94					3.70				
A-10	3.01					3.25					3.06				
A-11	3.19					3.39					3.28				
A-12	2.94					3.11					2.99				
A-13	4.31					4.53					4.47				
A-14	3.66					4.22					3.71				

	経済学部専門科目					商学部専門科目					理学部専門科目				
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
A-1	3.70					3.87					3.41				
A-2	3.51					3.67					3.21				
A-3	3.88					4.04					3.53				
A-4	3.78					3.97					3.42				
A-5	3.49					3.54					3.28				
A-6	3.57					3.68					3.35				
A-7	3.87					3.99					3.55				
A-8	3.91					4.03					3.76				
A-9	3.64					3.79					3.42				
A-10	3.31					3.33					3.02				
A-11	3.51					3.52					3.19				
A-12	3.12					3.19					2.98				
A-13	4.31					4.39					4.44				
A-14	3.81					3.90					3.41				

	共通教育科目(第2外国語)					教職課程科目					医学部				
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
A-1	3.75					4.00					3.533				
A-2	3.63					3.88					3.672				
A-3	3.88					4.17					3.772				
A-4	3.73					4.02					3.674				
A-5	3.56					3.56					3.519				
A-6	3.76					3.76					3.883				
A-7	3.89					4.01					3.626				
A-8	3.98					4.17					3.649				
A-9	3.66					3.70					3.491				
A-10	3.11					3.24					集計除外				
A-11	3.33					3.43					集計除外				
A-12	2.91					3.03					集計除外				
A-13	4.46					4.48					集計除外				
A-14	3.78					4.03					3.609				

	工学部専門科目(講義)					工学部専門科目(実験)					薬学部専門科目				
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
A-1	3.44					3.73					3.65				
A-2	3.23					3.39					3.51				
A-3	3.56					3.67					3.75				
A-4	3.46					3.48					3.63				
A-5	3.41					集計除外					3.45				
A-6	3.36					3.51					3.64				
A-7	3.56					3.64					3.76				
A-8	3.80					3.83					4.02				
A-9	3.44					3.50					3.64				
A-10	3.01					3.04					3.09				
A-11	3.21					3.30					3.32				
A-12	2.96					3.02					3.13				
A-13	4.32					4.60					4.75				
A-14	3.45					3.74					3.67				

※実験・実技等の科目の集計にあたっては、授業の性格上一部の項目を集計から除外しています。
 ※医学部は別形態で実施したアンケートのうち、全学共通項目に相当する部分の結果を表示しています。

※実験・実技等の科目の集計にあたっては、授業の性格上一部の項目を集計から除外しています。

応える、答える! No.2 大学環境編

山下学長に答えていただきました!

皆さんから寄せられる質問や意見に
しっかりと応える、答えるシリーズ。
今回は、大学の環境についてです。

Q. I-Tの時代です。僕らのキャンパスはもう始まっていますか?

A. キャンパスのI-T化はもう始まっています。

本学は、21世紀における新しい大学像を求めてさまざまな視点から改革・改善を行っています。「情報化基本構想」は、学生へのサービス向上とエンロールメント・マネジメント(入学から卒業まで一人ひとりの学生の個性を見ながら、それぞれの目的に合ったプログラムやサービスを教職員一体となって支援すること)のサポート、事務処理の効率化、教育研究・医療活動の充実、業務の効率化を実現し、他大学との競争力を強化します。たとえば、学生カルテ等のデータベース化、web上での履修登録、オンライン化による学生への個別情報提供等第二段と学生へのサービス向上が可能となります。

Q. もっとキャンパスに緑が欲しいのですが?

A. 同感です。

まだ足りないかと私も思います。

本学では、緑の豊かさ、歴史および風格が感じられるキャンパスづくりを目指し、2001年から緑化推進キャンペーンを実施しています。これまでに、214本の樹木(苗木163本、成木51本)を植樹してきました。しかし、まだ足りない。ある説によれば、人の視野の3割以上が緑である場合、人は癒されるといえます。また豊かな緑はオゾンをつくり、空気を冷やす効果もあるのです。これまで実施してきたキャンパス緑化推進事業を引き続き進めることで、学生、患者、教職員を含め、大学を訪れるすべての人々に、心の安らぎを与える緑豊かな環境を整備し、キャンパス全体を思索の場としての「七隈の杜」としたいと思えます。

Q. ときどき、タバコの吸い殻を見かけますね?

A. 公徳心を支えるのは「恥」の感覚だと思います。

この5月に行った「喫煙マナーアップキャンペーン」も第4回目を迎えました。昼夜を問わず、教職員と学生が一体となり、喫煙マナーの向上を目指すべくキャンペーンの輪を広げています。

これらの環境マナーに関しては、学生一人ひとりの自覚が必要となることは言うまでもありません。環境マナーとは、つまり公徳心のことです。この公徳心をつくるのは「恥」を知り、崇高なものを「敬う」心です。マナーが行き届いていることは、大学としての長所の一つではありますが、それは最低限の長所に過ぎませんし、誇るべきことでもありません。



Q. 福岡大学は人と人との交流を大切にしていますか?

A. I-T情報の限界を補うのはコミュニケーションです。

情報量について、作家の開高健は「二冊の哲学書よりも「一滴の香水」の例えの中で次のような趣旨のことを述べています。「鼻にある神経の穂先が何本あるのかわからないが、その神経の穂先と人生経験が絡みあつて惹き起すイメージの多様さを考えると、ウェブスターの辞書にある言葉の数だけではとても説明しきれない」と。

I-T情報の限界を補うのは「コミュニケーション」です。本学では、以下のような催事や企画を通じ、福岡大学を核としたコミュニケーションネットワークづくりに努めています。

母懇談会」を開催しています。平成17年度は北九州、佐賀、熊本、宮崎、広島、松山地区の6会場で開催、平成18年度は福岡、長崎、大分、鹿児島、山口地区の5会場で開催と、各会場とも隔年で開催する予定ですが、地域を限定せず、いずれの会場にも参加できるようにしました。



●ホームカミングデー

(福岡大学卒業生の集い)

大学と卒業生の絆を深めるために開催している「ホームカミングデー」も、今年で4回目を迎えます。毎回、多くの卒業生が訪れ、新しく立派になった学舎に驚かれるとともに昔の学生時代を懐かしんでおられます。



●父母懇談会

日頃、福岡大学と接する機会が少ないご父母に対し、大学の近況や修学状況、就職状況などをお伝えるために「父

●オープンキャンパス&進学相談会

毎年、夏にオープンキャンパス&進学相談会を開催しています。高校・予備校の生徒、保護者、教師を対象に、本学の全学部および附属看護専門学校に関する個別相談会(学部説明会)、施設見学、キャンパスツアーのほか、入試の傾向と対策、公開講義なども行っています。七隈キャンパスを一



山下学長からのメッセージ

人が全てを忘れ去った後に残るのが教養です

教育において「品格」を大切にします。品格は自然と身に付くものであって、具体的にこんなものだと表すことはできません。それよりも、品格を備えることや品格を感じ取る眼力を養うこと、これがそが大学の使命であり教育研究の結晶と言えます。そう考えると、大学の授業が人間形成の全てではなく、もっと広く深く、遠い彼方にありそうな気がします。



学長 山下 宏幸



- 平成17年度は次のシステムを稼働させる予定です。
- 共通・学籍・就職系サブシステム
 - 新教育研究システム
 - 新公式ホームページ
 - 新図書館システム
 - 統合認証システム

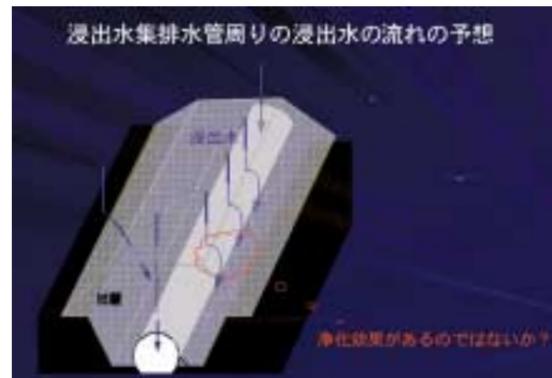


これならわかる！ 研究推進部の研究

Case 1

産業廃棄物の処理に関する統合システムの研究

中国や東南アジアの多雨地域にも合う埋立構造を構築して、実用的に設計する。

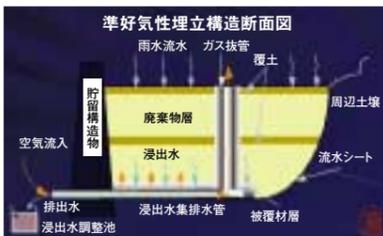


中国や東南アジアの国々では、産業の発展につれて廃棄物の排出量が増加しており、この廃棄物の処理・処分方法の開発が急務となっています。これらの国々の廃棄物は、焼却施設が少ないことから、大部分が焼却していない有機物主体の生ごみです。これまで本学が中心となって開発してきた準好気性埋立方式は、有機性廃棄物の好気性分解を促進させるため、これらの国々の廃棄物の処理・処分に適した方法であり、非常に高い関心を持たれています。準好気性埋立方式は、埋立地の底部の浸出水集排水管、ガス抜き管および埋立地の表面（最終覆土層面）から空気を取り込んで廃棄物の好気性分解を促進させ、排気物を早めに自然に戻すことにあります。しかし、中国や東南アジアの多雨地域では、埋立地の表面から雨水が多量に浸透するため、やむを得ず透水性の低い粘性土などで最終覆土層を形成していましたが、これでは埋立地の表面からの空気流入が阻害されてしまいます。この研究では、多雨地域でも埋立地表面からの空気を取り入れることができる埋立構造を構築し、本構造の設計方法の確立を目的としています。さらに準好気性埋立方式の機能を保持した単純な埋立構造システムの構築を目指します。

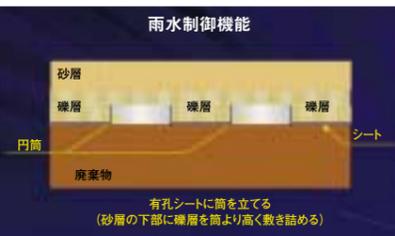
た方法であり、非常に高い関心を持たれています。準好気性埋立方式は、埋立地の底部の浸出水集排水管、ガス抜き管および埋立地の表面（最終覆土層面）から空気を取り込んで廃棄物の好気性分解を促進させ、排気物を早めに自然に戻すことにあります。しかし、中国や東南アジアの多雨地域では、埋立地の表面から雨水が多量に浸透するため、やむを得ず透水性の低い粘性土などで最終覆土層を形成していましたが、これでは埋立地の表面からの空気流入が阻害されてしまいます。この研究では、多雨地域でも埋立地表面からの空気を取り入れることができる埋立構造を構築し、本構造の設計方法の確立を目的としています。さらに準好気性埋立方式の機能を保持した単純な埋立構造システムの構築を目指します。

研究早わかりチャート

福岡大学が中心となって開発してきた「準好気性埋立」構造の断面図



現状 この課題を解決するため、従来はキャバリアーを重たいため、廃棄物層などの不同沈下が発生すると、排水機能が損なわれてしまう。



長を生かすことができる。準好気性埋立構造の特長を取り込むという準好気性埋立構造の特長を生かすことができる。

1 この研究をなぜ始めた？
中国や東南アジアの国々では、産業の発展につれて廃棄物の排出量が増加。その処理・処分方法が急務の課題。何か、役に立てないだろうか。

2 この研究のユニークポイント
本学が中心となって開発した「準好気性埋立方式」を基に、中国や東南アジアの多雨地域に合う構造に改良した。決め手は独自の発想による「筒を持つ孔開きシート」。空気も水も通すしかも軽い！

3 この研究は何に役立つ？
実用化すれば、焼却施設が少ないため大部分が生ごみとなる中国や東南アジアの国々の産業廃棄物を、環境を汚さずに処分できる。処分された廃棄物は土に還り肥沃土となる。二石二鳥。しかもコストは低い！

研究代表者 平野 文昭
(工学部助教授)
1983年九州大学大学院博士後期課程満期退学
2001年から福岡大学工学部土木工学科
(現社会デザイン工学科) 助教授
専門: 地下水工学・廃棄物工学

Case 2

臨床鍼灸の科学的診断・治療システムの構築

身体の動きを指標としたシステムで容易に行える、受けられる鍼灸に。



米国国立衛生研究所の「鍼」に関する合意声明書が発表されて以来、鍼を医療へ取り込むことへの期待は、今や世界的潮流となっています。こうした状況変化の中で、私が開発した、身体の動きを指標とする鍼灸の診断・治療法は、客観性や再現性を確保すると同時に、効果も従来の方法よりの確で、臨床医学に応用できる鍼灸として、高い評価

を得ました。この診断・治療法には、人体各部のアンバランスを修復する仕組みもあることから、病気の発現や治療に深く関わる自律神経系・循環器系・免疫系などに大きな影響を及ぼすものと予測されます。日常生活の繰り返し動作で人体各部の動きにアンバランスが起これば、それが運動器に限らず、循環器系や神経系などの症状を誘発していると考えられるのです。臓器別専門医療が中心の現代医学では、この現象を把握・分析する仕組みはありません。本研究は、ヒトの動きに内在するこれらの系との関連性を明らかにしつつ、身体の動きを指標とした臨床鍼灸の科学的診断・治療システムの構築を目的として始められました。

研究早わかりチャート

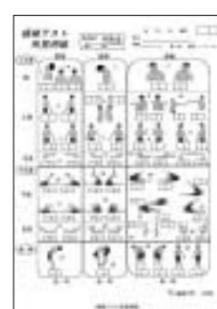
ヒトの動きの異常が、病気の発症や深刻化に関わるという仮説を基本にスタート。



その動きの異常を感知し、その動きを改善すると症状が軽くなることを確認できる。



そのことを実証するために3Dカメラ(VICON)を導入、ヒトの動きをバーチャル化。患者さんがその映像に合わせて動くことで、経絡(ツボ)を診断、健康状態や症状を探る。



研究代表者 向野 義人
(スポーツ科学部教授)
1971年九州大学医学部医学科卒業。
1989年から福岡大学体育学部(現スポーツ科学部)教授
専門: 内科学・東洋医学・スポーツ医学

1 この研究をなぜ始めた？
ヒトの動きの異常が、病気の発症や深刻化に関わるという向野理論を科学的に証明するため。

2 この研究のユニークポイント
3Dカメラ(VICON)を導入、ヒトの動きをバーチャル化。患者さんはその映像に合わせて動く。このことで患者さんの理解も得やすくなる。
経絡(ツボ)テスト所見チャートを開発。従来は鍼灸師の勘に頼っていた、人体361の経絡を、容易に診断・治療できるようにマニュアル化する。

3 この研究は何に役立つ？
ヒトの動きが、さまざまな病態で、自律神経系・循環器系・免疫系などに及ぼす影響を解き明かすことで、健康者や病人の日常動作が病気とどう関連しているかを知ると同時に、新たな治療法を確立できる。

声が張る。少年が、見つけた宝物のことを誰かに話しているような表情。CMタイム。その表情がしんと澄み、深くなる。時間と段取りを確認する。大人の、プロの顔になっている。CM終了。とたんに声が張る。少年になる。少年と大人を何度か繰り返し、本番終了。大きな息を吐いた。モノクロームの存在感が、近藤を再び、包む。



その瞬間、近藤が発光した。色彩になった。

「5、4、3、2...キュー！」。

「10秒前」

「15秒前」

共演者にあいさつをする。

「20秒前」。

近藤はやつと腰をあげ、カメラの前に立った。

「30秒前」。

まだジヤブを打っている。

「45秒前」。

「ジャンクシオン、1分前です」。

「2分前です」

「3分前です」

「2分前です」

「3分前です」

FD（フロアディレクター）が大きな声で本番までの時間を告げる。

近藤鉄太郎は、セットの奥でメモをとっている。

今日、しゃべることをまとめている。伝えるべきことを、正確に、スピーディーに伝えるために。切れ切れに言葉が聞こえる。シャドーボクシングのジヤブのよう。そこだけ、モノクロの陰影が濃くなる。

テレビのスタジオは遊園地。映りが良いように、鮮やかな色彩。セットは大きな積み木。まぶしいライト。華やかで、とても軽い質感。その中で、ひとつ。モノクロームの存在感を持つ人がいた。

チャレンジ！若き福大OB・OG、その道の途中から、
チャンスのしっぽをつかむというイベント。
九州朝日放送アナウンサー 近藤鉄太郎さん
モノクロームの存在感を持つ人がいた。
その瞬間、近藤が発光した。色彩になった。
とたんに声が張る。少年になる。
3度目の、チャンスのしっぽをつかもう。
手ごたえがあった。ピシッ。

アサデス。
KBC 3チャンネル
近藤鉄太郎

「2日だけ考えさせてください。上司にそう頼んだんですよ」

現在担当している、朝のワイドショー番組「アサデス」のキャスターを要請された時のこと。スポーツアナとして、ようやく自信みたいなものを持ち始めた頃だった。不安があった。「僕が情報番組の司会？って感じだ」。日考えて承諾した。「その代わり、朝（この番組）一本にしてください」。中途半端な気持ちでは、この番組にも担当していたスポーツ中継にも迷惑がかかる。近藤は、そんなことを、とても嫌う。決断すれば、気持ちもすぐに向きになる。3度目の、チャンスのしっぽかもしれない。じゃあ、つかもう。

最初のチャンスのしっぽは、大学卒業後に就職したテレビ愛媛でつかんだ。全国ネットの朝のワイドショー番組の中継を担当した。ある日、ゴルフ場の名物料理を紹介することになった。

KBCテレビスタジオにて



「タケノコと鰹のカレーだったんです。その個性的な味をどう伝えるか、言葉でどう表現するか」

考え抜いて、本番。コメントの言い回し、表現、間、リズム。割り当てられた2分間に、ピタッとはまった。自分のアナウンスメントを見つけた気がした。誰にも褒められなかったけど、手ごたえがあった。ピシッ。シャドーボクシングのストレートが見えない顔面にクリーンヒットした。つかんだ。

2度目のチャンスのしっぽは、1999年。KBCが募集したスポーツアナの中途採用に応募した時。たった2人の採用。近藤にとってスポーツアナは、学生時代からのあこがれだった。迷わずに試験を受けた。受かった。2000年1月1日入社。やつと故郷に帰れた気がした。福岡には母校がある。ようやく本当の自分に帰れた気がした。その年の5月、ホークス対ライオンズ戦の中継した。スポーツ中継は、瞬にすべてが凝縮される。綿密な下取材が、膨大な知識が、絶妙のタイミングで、適切な言葉を生む。シャドーボクシングの時間が増えた。近藤は、そしてつかんだ。2003年にはホークスの日本を体験。晴れのリングに、近藤は立っていた。そして今、朝の家庭向けの番組で、3度目のチャンスのしっぽをしっかりとつかんでいる。

こんどう・てつたろう PROFILE

1972年12月23日生まれ。長崎県小値賀町出身。1995年福岡大学法学部卒業。テレビ愛媛にアナウンサーとして入社。「めざましテレビ」の中継などを担当。2000年、九州朝日放送へ。スポーツアナを経て、現在「アサデス、KBC」「アサデス、九州・山口」などを担当中。



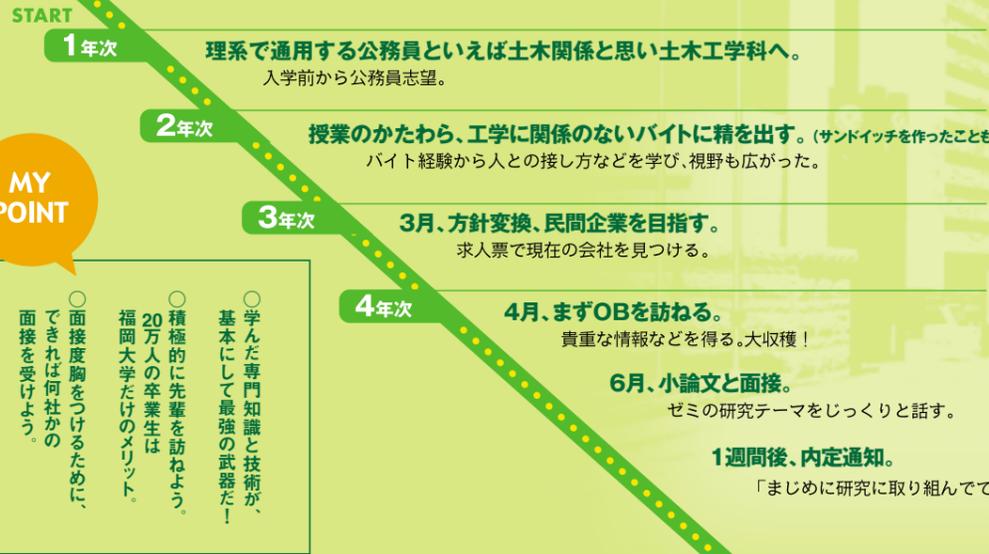
工学部土木工学科 (現社会デザイン工学科) 1999年卒業 西日本技術開発株式会社勤務 円田 竜太さん

福岡大学で鍛えられた、専門知識と技術が 結局は最強の武器になる。

高校時代から、どちらかというと数学などが得意で、しかも公務員を目指していました。理系の公務員といえば土木関係かな、という気持ちで入学したんです。ところが学科で学んでいるうちに、やっぱり民間の企業で自分の実力を発揮したくなって、就職活動を始めたのは、3年次の3月からでした。その頃に求人票で見つけたのが現在の会社です。OBの方が勤務しているって聞き、まず会社を訪ねて相談に乗っていただきました。試験は4年次の6月。小論文と面接でした。面接では何を専攻したのか聞かれたので、私がゼミで研究中だった「再生骨材」の話をしました。かなり真剣に打ち込んでいたので、深く話せたと思います。

どうやら、そのことが決め手になったようです。1週間後には内定をいただきました。振り返ると、結局は自分が真剣に学んだ専門知識や技術が、何よりの武器になるんですね。特に理系の場合はそうだと思います。話し方も当然熱がこもるし、研究のプレゼンテーションをしているみたいなので、自分自身の言葉で話せます。付け焼刃の情報やマニュアル通りの受け答えより、よほど印象に残ると思います。それから、最初に先輩を訪ねたことも正解でした。一番親身に相談に乗ってくれるのはOB・OGです。その点では福岡大学は恵まれていますね。卒業生20万人の人脈というのは大きな財産です。

就職のための4年間チャート



MY POINT

- 学んだ専門知識と技術が、基本にして最強の武器だ！
○積極的に先輩を訪ねよう。20万人の卒業生は福岡大学だけのメリット。
○面接度胸をつけるために、できれば何社かの面接を受けよう。

担当者へ聞く



岩吉 啓輔さん 西日本技術開発株式会社 土木管理部部長

この人を 選んだ理由

即戦力の見極めは、その人間が持つ、専門知識と技術です。

私は2年前から面接官をしておりまして、彼を直接に面接したわけではありませんが、彼の話を聞いて「なるほど」と思いました。現在は昔のように「採用して育てる」時代ではありません。企業は即戦力を求めています。その見極めはどれだけ「専門知識と技術」を有しているかです。彼は自分の研究テーマを熱心に語ったと言いましたが、そのようなコミュニケーション能力も大切ですね。能弁ではなく、人を説得する熱弁です。また、先輩が大切とも言いましたが、私も福岡大学OBの一人として、その通りだと思えます。なるほど、彼が採用になったわけですね。



福大っていうのは凄いですね。絶句するアナウンサー。かつ正しい。正確に、迅速に、そして誠実と温かみのある伝え方。

近藤鉄太郎は、1972年に長崎県小値賀町で生まれた。「野球が大好きな」少年だった。好きな野球団は、当時の大洋ホエールズ(現横浜ベイスターズ)。「テレビの野球中継がセリーグしかなかったんです」(笑)。地元北松西高校に進学した頃から、

福岡大学の大学案内を見て「アナウンスメント研究愛好会」の存在を知る。「それだけでもう、決めました」(笑)。

アナ研では「七隈祭」で発表したDJ番組が忘れられない。地元の放送局報道部でのバイトも1年半続けた。3年次の終わりにはKBCの「スポーツアナウン



ここはディレクターがスタジオへ指示を与え、様々な機器のスイッチングを行うテレビ副調整室だ



「近藤トークの完成。誰のものでもない、自分のアナウンスメントを創ること」
近藤が伝えたいこと。「子どもたちに、僕が感じた感動や勇気を伝えたい。無垢な感性にストレートに届きたい」。

夢は見るものである。叶ぬ夢は沢山ある。叶う夢は一つある。

サー養成講座」を受けた。4年次、放送局をかたづけばから受ける。アナ研の先輩がアナウンス部長として、テレビ愛媛にいた。6月に受けて最初に合格通知をもらった。「愛媛の放送局に先輩がいるんですよ。福大っていうのは凄いですね」。近藤に、チャンスへの道を開いたのは、福大と、その人脈かもしれない。

インタビュ中、こちらの難しい質問に、近藤は沈黙した。黙って数十秒間、考えていた。懸命にこちらの趣旨を汲み取り、自分の答えを見つけようとしていた。モノクロームの存在感が大きく増した。絶句するアナウンサー。その矛盾が、かつ正しい。

同僚の近藤評。「まじめで無口」「エリートな人」「競馬が好き」「研究熱心」。インタビュの印象と合わせて、見えてくるのは真面目さと誠実さ。本番前に感じたモノクロームの存在感は、真摯な生き方の反映。決して暗いではなく、深いのだ。

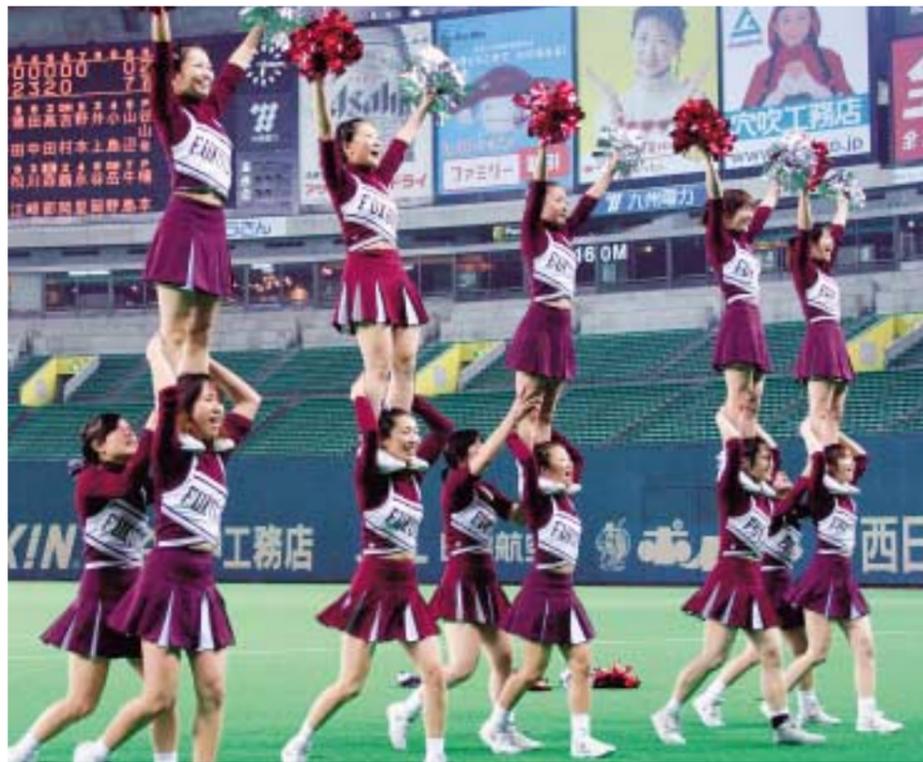
本番になれば、その深さが発光する。見る人をとらえてしまふ、底光りの華やかさを生む。



応援
自分のがんばりが、人へのチアになる。

Cheer Leading

チアリーダー部



「緊張してくると、なぜか笑いが出ちゃうんだよね」
チアは、情宣ステージでの勧誘・トップバッター。そろそろ開始時間

ベースで支えるメンバーと、上段に立つメンバーの信頼なくしては、大技はできない。

福西戦当日。修学旅行のように楽しげなバスの中



出番直前で緊張!しているかと思いきや...。さすが、「笑顔がいのち」のチア!



何種類かあるチアのTシャツ。「筋欲」の文字は、パンチがある



始球式でバットを振る山下学長。いよいよ試合開始



今日はめずらしく、ザ・ビッグライフ(スポーツバー)が控え室!かなりゴージャスな気分、試合までの時間を過ごす

新入生オリエンテーションの日。「しっかりアピール!」
4月11日。今日は新入生へのオリエンテーションの日。チアリーダー部のみんな、かなり緊張しています。オリエンテーションで披露する演技の内容は、福西戦向けに練習しているもの。「ダイナミックな動きで1年次生にしっかりアピールしないと」と4年次生の平さん。12時10分、2限目終了。二気が人が集まってきました。演技が始まった瞬間、ぱあっと明るくなった情宣ステージ。チアは、笑顔が命。きつても、笑顔は絶やしません!それに、ぴんと伸びた手足。はつらつとした動きで、情宣ステージを沸かせます。「入部した当初は体が硬かったんです。でも、毎日ストレッチして、やっとなりが伸びるようになりました」という幹事の吉村さん。バレエ経験者はたった2人しかいないそうです。段の一番上で満面の笑みを見せる、2年次生の井下さん。実は、じん帯が切れたままなんです。昨年7月の九州大会2日前、着地に失敗して骨折、じん帯断裂。それにもめげず、リハビリをがんばったおかげで、回復も早かったとか。演技はあつという間に5分ほどで終了。ちよと乱れたところもあつたけど、みんな楽しんで演技ができたよつで、ほつと息です。

チアは多くの人へ、
そして自分へのチア。
今後の春の予定は、新入生歓迎ピクニックと5月の全日本選抜大会。この大会で4年次生は引退です。本当は昨年の12月で引退するはずだったので、後進の育成のために好意で全員が残ってくれたのです。
先輩たちの好意を無駄にしないよう、がんばらなくてはけません。ガンバレ、自分。そのがんばりが、人への何よりのチア(応援)になると、部員たちは信じています。現在、新入部員は4人。10人確保が目標です!

終チエック。試合の応援は楽しみみだけ、7回裏のパフォーマンスのことを考えると、何だかそわそわ。みんなといっしょに体を動かして、緊張をほぐします。
16時20分、始球式のと、いよいよ福西戦の開幕です。ナインを盛り上げるため、攻めの時も守りの時も、壇上と通路の立ち位置を入れ替わりながら、絶えず声を出して応援。バスの中で間に合わせたフラカドのおかげで、息の合った応援ができています。どんとどんと得点を重ねる福大ナイン。いい調子です!
7回表、西南学院大学チアリーダーのパフォーマンス。自分たちの事のように息をのんで見守ります。このインニングが終われば、今度は自分たちの番。ドームでの演技、楽しもうと、みんなで声をかけ合つて。
7回裏、一斉に芝生へ駆け出します。体勢を整えて、音楽スタート!情宣ステージではすこし乱れた部分も、今回はOK!。ラインダンスもきれいにまともまりました。球場全体からの温かい拍手。みんな大満足です。試合は7-0で、福大の圧勝。応援の甲斐がありました。

ドームでの演技を楽しもう!
みんなで声をかけ合つて。
福岡ヤフドームに着き、ひとまず控え室へ。前の試合がようやく7回に突入した頃、控え室からゲートの口へ移動します。ロビーで動きの最中、明日はいよいよ伝統の福西戦。今日は無理せず、体調を整えて。
12日19時。すっかり暗くなったキャンパス。第記念会堂から、光とプラスチックの音、そして元気なかけ声ももれてきます。今日は、プラスチックバンド部、応援団、チアリーダー部の最終音合わせ。アイスホッケーやアメフトの応援はチアだけでなく、野球は3部合同なので、さらに気合いが入ります。
何曲も音合わせをし、動きを確認していきます。プラスチックの丁寧な音調整。応援団のドスのきいた声。各部の幹事が連絡を取り合つて調整した貴重な時間です。自然と動きもテキパキとします。緊張感かなり高まっています。明日はいよいよ本番。

修学旅行のようなバスの中。
13日。ついにやってきた福西戦の日。13時30分、応援部隊が3台のバスに分乗し、福岡ヤフドームへ出発。チアリーダー部は16人全員参加。バスの中はワイワイとしたリラックスモード。修学旅行のようなバスの中で、ひとときわらいを誘つて場を盛り上げていたのが、2年次生の篠崎さん。「入学してすぐ、チアに入部しました。先輩たちのカワイさに魅せられて」と話します。ほかにも「先輩にあこがれて」という入部動機の人は多いようです。

平成17年度 福岡大学特待生が決定

平成17年度の福岡大学特待生が決定しました。この特待生制度は、学業成績ならびに品行の特に優秀な学生を表彰し、奨学金(文系学部の授業料相当額)を授与するもので、本年度は88人が選ばれました。皆さん、おめでとうございます!

学部	氏名	出身高校	学部	氏名	出身高校
人文学部	川上 毅	宗像	商学部	前田 佑介	伊万里商業
	永濱 実里	松陽		村岡 次郎	佐賀北
	松本 知子	長崎東		河野 郁子	博多女子
	坂井 美可子	福岡中央		藤山 佳具	龍谷
	橋本 絵梨子	松山西		テイ キョウタン	丹東市師範学校
	福嶋 諭子	鹿本		チョウ ショウスズイ	太原理工大学軽紡行程与美術学院
	溝上 華奈	広島文教女子大学附属		姫野 綾子	大分東
	川崎 珠実	安古市		※注	
法学部	柳屋 友里	福岡中央	第二商学部	谷 洸二	東福岡
	横枕 佳代	八女		御手洗 幸子	福岡女子
	河村 央輔	鞍手		北崎 宏	福岡西陵
	山代 南海	都城西	木村 智子	長崎北陽台	
	喜屋武 恭子	宮崎西	山本 達郎	大村	
	村上 太郎	武蔵(都立)	羽場 淳一	福岡大学附属大濠	
	旭田 泰紘	城南	井上 綾子	筑紫	
	能津 佳世	サビエル	宮崎 義史	福岡大学附属大濠	
	木村 眞生	長府	石橋 朋果	鞍手	
	熊川 康世	暁星国際	上田 亜実	東明館	
経済学部	竹中 真理子	福岡中央	工学部	糸柳 英治	福岡中央
	得利 一貴	宇部フロンティア大学付属香川		永尾 真史	太宰府
	恒吉 謙次	福岡中央		青木 英樹	鹿島
	岩瀬 浩幸	武雄		久保田 寛丈	浮羽
	田中 孝樹	中津南		泉井 裕行	五島
	佐野 友祐	福岡西陵		山口 清隆	福岡大学附属大濠
	ケン シュホウ	大連市第四十八中学		佐藤 裕太	筑前
	諫山 裕一	田川		明石 彩	武蔵台
	今橋 宣隆	呉三津田		松尾 亮一	武雄
	井上 晃一	西南学院		吉丸 俊和	城南
商学部	結城 隆太	福岡	医学部	樋口 明	長崎東
	大江 佑三子	宇部		中井 美紀	中津南
	横水 元気	東筑		進藤 崇史	西南学院
	石橋 幸恵	久留米		清水 郁	成蹊
	田中 真梨	筑紫丘		進藤 温子	修猷館
	山田 千穂	福岡		橋本 就子	修猷館
	木島 孝多朗	萩		畑山 さや香	筑紫丘
	片江 健太	龍谷		橋本 三佳	高千穂
	盛島 可奈絵	宮古		村地 和成	弘学館
	井上 里佳	福岡中央		西村 亜紀子	小倉
商学部	藤澤 奈津江	博多女子	薬学部	有元 明恵	福岡
	田中 健伸	久留米商業		浦田 奈々美	城南静岡
	岩崎 憲太郎	佐賀東		安田 幸司	大嶺
	早田 愛	福岡海星女子学院		柴田 聡子	玄洋
	葉山 文子	博多女子		波止元 貴士	三原
	久木田 要	鹿児島工業		菱井 修平	桜宮
経済学部			理学部		

※注:本人の希望により氏名等の掲載はしていません。

Special Thanks! 定年退職者・名誉教授一覧
長い間ごろうさまでした。そして本当にありがとう。

福岡大学を愛し、福大生を慈しみ、そして教育研究にご尽力いただいた方々が
その任を全うして定年を迎えられました。

6月16日、長年にわたる功績を称え、8人の先生に名誉教授の称号が授与されました。

別れは寂しいものですが、これからは第二の人生を悠々とお過ごしください。

私たちは皆さま方のことを決して忘れはいたしません。

定年退職者

平成17年3月31日付

福岡大学

[教育職員]

- 教授 山中 豊国(商学部)
- 〃 富永 佳也(理学部)
- 〃 百武 秀(工学部)
- 〃 大島 健司(医学部)
- 〃 西丸 雄也(〃)
- 〃 都 温彦(〃)
- 〃 北原 滋夫(スポーツ科学部)
- 〃 八尾 恒良(福岡大学筑紫病院)
- 助教授 西川 博(理学部)
- 講師 坂口 正剛(福岡大学筑紫病院)
- 助手 藤城 直二(医学部)

[事務職員]

- 参事 橋崎洋二郎(参与・学長付)
- 〃 佐藤 誠司(主査・事務局長付)
- 〃 小澤 一也(主査・医学部事務課)
- 〃 井手 正(主査・学生課)
- 〃 山田 利秋(主査・学術情報課)
- 〃 安部 伸行(主査・入学センター事務室)
- 〃 友原 和子(管理課)

[教育技術職員]

- 技師 水本 秀志(工学部)
- 技師補 岸本真理子(アニマルセンター)

[労務職員]

- 医療補助員 肥後 勝江(福岡大学病院看護部)

附属大濠高等学校・中学校

[教育職員]

- 教頭 広瀬 信雄(中学校)
- 教諭 冷川 昌彦(高等学校)
- 〃 森 五郎(〃)

8人が福岡大学名誉教授に

学部	氏名	教授歴	役職歴	在職期間
商	山中 豊国	昭50.10.1~平17.3.31 (29年6カ月)		昭42.10.1~平17.3.31 (37年6カ月)
理	富永 佳也	昭48.10.1~平17.3.31 (31年6カ月)	●研究推進部長(総合研究所長) ●評議員	昭45.4.1~平17.3.31 (35年)
工	百武 秀	昭54.4.1~平17.3.31 (26年)	●研究科長 ●研究推進部長 ●評議員	昭41.10.1~平17.3.31 (38年6カ月)
医	大島 健司	昭53.4.1~平17.3.31 (27年)	●看護専門学校長	昭48.4.1~平17.3.31 (32年)
〃	西丸 雄也	昭62.4.1~平17.3.31 (18年)		昭48.4.1~平17.3.31 (32年)
〃	都 温彦	昭58.4.1~平17.3.31 (22年)		昭46.9.25~平17.3.31 (33年6.2カ月)
〃	八尾 恒良	昭60.6.1~平17.3.31 (19年10カ月)	●筑紫病院院長 ●評議員	昭54.6.1~平17.3.31 (25年10カ月)
スポーツ科	北原 滋夫	昭63.10.1~平17.3.31 (16年6カ月)	●評議員	昭44.4.1~平17.3.31 (36年)

福岡大学の教職員、OB・OGの方で
新刊本の紹介を希望される場合は、
下記の要領でお申し込みください。

- 対象 市販されている書籍(共著を含みます)。なお、テキスト類は除きます。
- 提出していただくもの
①出版物の現物(福岡大学図書館または広報課へ寄贈するか、返却を希望するかを明記してください)
②内容の要旨(200字程度)
- 提出先 福岡大学広報課
〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19番1号
TEL 092-871-6631(内線4635-4636)

佐野 誠 法学部教授

わが国の損害保険業界は明治初頭以来百余年の歴史をもち、今や米国に次いで世界第二位の巨大な市場となった。しかし、近時の市場自由化によって、この業界は大きな転換期を迎えているといえる。

本書では、このようながわが国の損害保険市場の現状を様々な角度から検証し、この市場が抱えている課題について分析、考察している。



松浦 茂・佐野 誠 共著
(財)損害保険事業総合研究所
2005年4月刊
定価2,500円(税込)

佐野 誠 法学部教授

佐野 誠 法学部教授

従来、自動車事故によって被害者が死亡するようなケースでも、近時は救急医療技術の進歩により「命」を取り留めることが多くなってきた。しかし、これによって「残った」などの重度後遺障害被害者の問題がクローズアップされてきている。

本書では、これらの被害者に対する介護費用損害の賠償方法として、従来の時金方式から定期金方式への転換を提案し、その具体的な推進策について論じている。



吉本智信・佐野 誠 共著
(株)自動車保険ジャーナル
2005年5月刊
定価4,830円(税込)

山崎好裕 経済学部教授

山崎好裕 経済学部教授

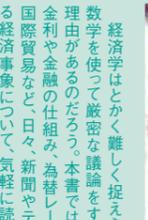
経済学はとくく難しく捉えられがちである。数学を使って厳密な議論をするところから理由があるのだから。本書では、GDPや株価、金利や金融の仕組み、為替レートの決まり方や国際貿易など、日々、新聞やテレビをにぎわす経済事象について、気軽に読みながらその意味や動きが理解できるように展開した。

また、現代のマクロ経済学や財務理論まで、労せずしてその感覚をつかんでもらう工夫も施してある。各章に2つずつあるコラムは問題と解説の形式になっており、数値例を使った頭と体操をしてみようことで読者の理解が深められるであろう。

さらに、特に教養課程や学部初年度の経済学教育に携わる皆さんにも本書を読んでもらいたい。本書のよって日本の国際経済比較を通じて経済知識を伝える方法の有効性などについても議論ができれば嬉しいと考えている。

山崎好裕 経済学部教授

山崎好裕 著
(株)ミネルヴァ書房
2004年11月刊
定価2,100円(税込)



山崎好裕 著
(株)ミネルヴァ書房
2004年11月刊
定価2,100円(税込)

田村和夫 医学部教授

田村和夫 医学部教授

悪性腫瘍のとらえかた
眼でみるヘッドサイドの病態生理

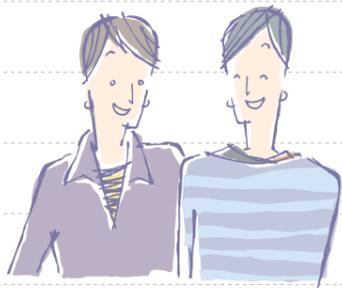


田村和夫 著
(株)文光堂
2005年3月刊
定価7,350円(税込)

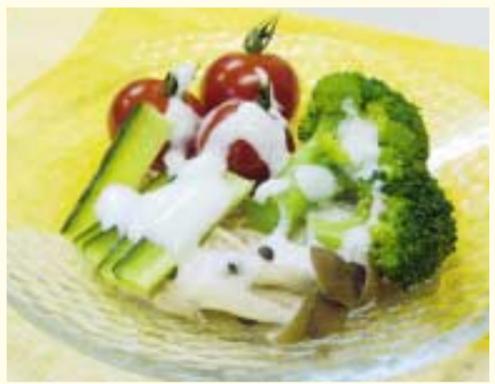
Book Review

福大生にこの一冊!
活字離れがすすむ今だからこそ、見直したい書物という知の泉。本学関係者の新刊本を紹介します。

教職員・OB・OGがおすすしめします



ヘルシー モーニングレシピ Healthy Morning Recipe



栄養たっぷりブロッコリーをヨーグルトソースで夏をヘルシーに!

からだにいい ヨーグルトサラダ

- 【材料】4人分
ブロッコリー・トマト・シメジ・きゅうり……………適宜
ヨーグルト・マヨネーズ・……………適量
ウイスキー・塩コショウ・塩

①湯に塩を少々入れてブロッコリーを茹であげ、盆ザルに取り、水にさらさず自然に冷まします。



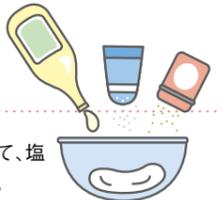
②同じ湯でシメジをササッと茹でます。



③皿に、短冊切りにしたきゅうりとトマトと一緒にセンスよく盛りあわせて。



④ヨーグルトに同量のマヨネーズを混ぜて、塩コショウし、ウイスキーを、野菜にかける。



●冷蔵庫に入れておけば、作り置きがきくので、多めに。プレーンヨーグルトを使いましたが、甘味のあるタイプでも、違った風味が楽しめます。



講座ご案内

HDセンターでは、「セクシャリティ」「自分らしい自己表現」というテーマで、専門カウンセラーによる講座を、夏期休暇中に実施します。オアシスと学生課にも講座の案内ポスターが掲示されますので、ご覧ください。両講座とも参加費は無料です。参加申し込み、お問い合わせは、HDセンターへ。電話もしくは来室で受け付けています。



男子学生のためのセクシャリティ講座

「思いやりとやさしさと責任」をテーマとし、「性の健康」「異性とのかかわりと自己意識」「性と生」などの講義をします。男子学生限定の講座です。

日時／8月30日(火)、31日(水)
両日とも13時～17時
講師／松尾公孝カウンセラー

自己表現講座

コミュニケーションの基礎理論をはじめとし、アサーショントレーニングで使われるロール



▲専門カウンセラーの松尾先生

プレイなどの体験を通して、楽しく学ぶ講座です。「自分らしい自己表現」について一緒に考えていきましょう。
日時／9月7日(水)、8日(木)
両日とも10時～17時
講師／屋宮公子カウンセラー

感受性の鋭い時期にありがちな心の悩みや不安。皆さんは感じたことはありませんか。そう、誰だってそんな気持ちになることがあるのです。

「梅雨、鬱々とした天気のように。」

それは梅雨に入ってから間もなくの頃でした。2年次生のHくんは、身体のだるさ、重さを覚えるようになり、寝つきが悪く、目覚めがすっきりしません。そのうち、なにもやる気がなくなり、ぼーっとしていることが多くなりました。もともと几帳面で真面目な性格です。そのような自分がいやで、自己嫌悪に陥り、とうとう大学も休みがちになりました。友人のTくんは、Hくんの状態を見かねて、大学内にある「ヒューマンディベロップメントセンター」のことを教えました。「ほんとの病気になる前に行ってみるよ」。Hくんがセンターを訪れたのは、予約して1週間後のことでした。

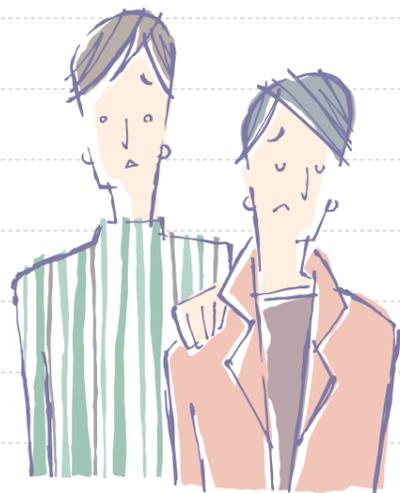


センターでは、まずインターカールに会い、今の症状を話しました。病院でありがちな、問い詰めるような風ではなく、話をじっくり聴いてくれる姿勢に安心感を持ちました。そして、専門のカウンセラーを紹介された。

され、次からはカウンセラーに相談していくことになりました。カウンセラーは、今どのような状態で、それがどのようなきっかけで起こったかを整理しながら聴きまします。Hくんは、6月の初めにささいなことでも親とケンカし、そのイライラがきっかけかもしれないと正直に話しました。「自分は、どちらかというと物事を悪い方に考え、自分を責めて悩んでいたのかもしれない。」

Hくんはまず、生活のリズムをきちんとつくり、睡眠を十分にとるようにしました。寝つきが良くなるように、昼間に軽い運動を行い、食事も1日3回とるようにしました。しばらくすると身体の調子が良くなってきたようです。Hくんはまた、自分を責めること、物事を悪い方に考えることなどを止め、自分の良いところを探し、

物事を良い方に考えるように努めました。本格的な夏が始まる頃、Hくんはよく笑うようになりました。運動で汗を流し、友人のTくんたちともキャンパスで元気に話すようになりました。Hくんの梅雨も、ようやく明けたようです。



カウンセラーより一言

Hくんの場合は、軽い「うつ状態」でした。これは、ちょっとしたきっかけで誰もが陥る可能性がある状態です。梅雨の時期は、はじめめとつらいついたため、よけい減入りがちです。予防としては、質の良い睡眠を十分にとることが大切。遅くとも夜12時前には、眠りたいですね。そして運動すること、笑うこと、汗を出すこと、規則正しく食べることです。

また、一人で悩まずに、当センターに相談するのも対処法のひとつです。



禁煙への前向きな気持ちを後押し。
さあ、みんなで頑張りましょう。



4月22日、本学健康管理センターによる第二回「禁煙教室」が開かれました。これは禁煙を希望する学生を対象にしたものです。教室は健康管理センター診療所長の浅野喬教授による、スライドを映写しながらのスピーチから始まりました。「禁煙には三つの要諦(ようてい)があります。一つは自分のニコチンの依存度を測ること。二つめは禁煙を始める日をしっかりと決めること。三つめは、なぜ禁煙を始めたのか理由を明確にし、それを決して忘れないことです。さあ、失敗を恐れずに始めましょう」。

その後、希望者には医師問診後、禁煙補助剤(ニコチンパッチ)が処方され、禁煙を成功させるための説明や個別指導が看護師により行われました。今後は禁煙実行者にメールやファックスなどで支援メッセージを送るなどのサポートを行っていきます。

一人でも多くの人が「たばこの



今後の「禁煙教室」の予定
●学生対象/7月・10月・1月
●教職員対象/9月・12月・3月

ない健康な生活」を実現してもらいたいものです。皆さん、頑張りてください。

また、5月17日から23日にかけて、喫煙マナーアップキャンペーンも行われました。一日に4回、本学教職員と学生の代表者がキャンパス内を巡回し、指定区域外での喫煙や歩きタバコなどを注意しながら、所々に捨てられた吸殻を回収しました。今回で4回目となりますが、回を重ねるにつれて喫煙者のマナーも改善されていることがうかがわれます。

なお、喫煙マナーのさらなる向上を目指して、喫煙マナーアップキャンペーンは今後も定期的を実施される予定です。



① たばこの害についてスライド説明。全員が熱心に見入る
② 健康管理センター診療所長の浅野 喬教授
③ 禁煙指導を受ける学生。強い決意をもって

頑張るぞ!宣言



タバコをやめると体力がつかない、と思い教室に参加しました。お話を聞いて、これは禁煙しなきゃ、と決意したところです。学園通信に出るなら、いよいよ失敗できませんね(笑)。いいモチベーションになりました。

僕は皮膚が弱いんです。タバコが悪い影響を与えているのではないかと、禁煙を考えていました。今日は決断の良いきっかけになったと思います。とにかく頑張ってみます。

長濱 祐輔さん(左)
人文学部英語学科4年次生

日置 健悟さん(右)
法学部法律学科4年次生

Vol.2
2枚の写真から
福岡大学の今、あの頃
「福大学生食堂」



▲写真:福岡大学大学史資料室



うどん15円、おかず20円、ライス20円、カレーライス50円…。昭和38年の学生食堂のメニューと価格です。当時学食はキャンパス内に1カ所しかなく、メニューもそれほど多くはありませんでした。その頃の卒業生にお話を聞くと「学食で思い出に残るメニューは、うどんかな」という言葉がよく聞きます。シンプルな食堂でしたが、とても安く、ボリュームのあるメニューは学生たちの強い味方でした。

学食は昭和12年頃、福岡高等商業学校時代には、すでに設けられていました。70年近い伝統を持つ施設なのです。

平成17年現在、キャンパス内の食堂・レストランは全部で11。メニューも多彩で、選ぶ楽しみにあふれています。ちなみに第一食堂のうどんは130円、ライス90円、カレーライス230円。安さとボリュームにおいしさも加えて、学食は今も学生たちの強い味方です。

Event Schedule

6月 野外実習教育キャンプ(4日・5日)

ウオッシュバン大学(米国) 研修生受け入れ(1日~17日)

交換留学生募集(豪州・中国・中国(台湾)・韓国)(6日~20日)

普通救命講習会(11日・18日)

父母懇談会(12日広島、18日宮崎、19日熊本、25日北九州、26日松山)

特待生表彰(30日)

学術文化発表週間(20日~25日)

蔚山大(韓国)・東義大(韓国) 研修生受け入れ(27日~7月15日)



7月 父母懇談会(2日佐賀)

前期授業終了(22日)

前期定期試験(23日~8月3日)

8月 夏季休業開始(4日)

交換留学生派遣(英国・米国・仏国・ブラジル)

海外研修生派遣(韓国)(4日)

海外夏期英語研修生派遣(英国)(5日)

オープンキャンパス&進学説明会(6日)

夏期セミナー(22日~28日)



9月 夏季休業終了(13日)

後期授業開始(14日)

海外研修生募集(米国・豪州)(14日~26日)

海外春期中国語研修生募集(中国)(14日~26日)

交換留学生受け入れ

10月 アジア圏協定校研修生受け入れ(中国・中国(台湾)・韓国・インドネシア・ネパール・フィリピン)(17日~28日)

学園祭
〔七隈祭・医学祭〕
(30日・11月2日~6日)





「3大学合同シンポジウム」開催

本学の海外協定校であるルーヴァン・カトリック大学（ベルギー）と蔚山大（韓国）、さらに福岡大学による「3大学合同シンポジウム」が5月1日～3日の3日間にわたり、本学文系センター棟で開催されました。

Far East — Far West 真摯な学術交流と温かな心の交流が FUKUOKAで花開いた。



福岡大学からは、新聞輝夫副学長、クラフチック経済学部教授、松永達商学部助教授が研究発表を行いました。シンポジウム中は、真剣に講演に耳を傾け、討議を行う参加者も、昼食やコーヒーブレイクの時は和気あいあい。国際的な心の交流の輪が広がりました。

5月3日は、会場を文系センター棟・国際会議室に移し、田中国際センター長の司会で総合討議を開催。午後はルーヴァン・カトリック大学、蔚山大からの参加者を「どんたく」でにぎわう博多の街に案内し自由に見学してもらいました。夕方には歓送会が行われ、3大学間の交流をさらに深めることができました。

3日間にわたり開催された「3大学合同シンポジウム」では多くの収穫を得ることができました。

今後はこのシンポジウムを機に、世界各国の協定校との、さらなる学術交流、そして人と人との心の交流が期待されます。

国際的な学術交流を目的としたこのシンポジウムは3大学合同という初めての試みのもと開催されました。今回は「EUとアジア—政治・経済・法学、言語・文化の視点から—」を総合テーマに、ルーヴァン・カトリック大学、蔚山

大、福岡大学の研究者がそれぞれのテーマで講演。熱心な質疑応答が行われました。

5月1日・2日の会場は本学文系センター棟4階・第四会議室。初日、山下宏幸学長の挨拶でシンポジウムの幕が開きました。

歓迎挨拶

第1回3大学合同シンポジウムの開催にあたり、福岡大学を代表して挨拶を申し上げます。先ずはじめに、本シンポジウムの開催に際し、ご理解・ご協力を頂いた蔚山大・蔚山校総長およびルーヴァン・カトリック大学長に感謝申し上げます。

また、3日間にわたるシンポジウムの企画・実施にご尽力頂いた各大学関係者の皆さまに心より感謝いたします。さらに、シンポジウムで発表していただく先生方およびご出席の皆さまに心からお礼申し上げます。

の皆さんにとって、ルーヴァン・カトリック大学は「Far West」であり、すなわち太平洋中心の地図と大西洋中心の地図を用意するとよく分かります。

と、2004年、EUは新たにバルト3国やポーランドなどの加盟により、共通通貨ユーロの導入をはじめとして経済統合を目指しました。一方、アジア地域に目を転じてみると、経済のグローバル化が進展するなか、アジアにおいても韓国、中国、台湾、ASEAN、および日本を中心とした経済統合が進み、相互依存関係を深めていくことが予想されます。ひいてはアジアとEUが相互関係を構築して世界経済の先導的役割を果た

福岡大学学長 山下宏幸

していくことが考えられます。このような時代・社会が変化するなか、今回のシンポジウムでは「EUとアジア」をテーマに、3大学の先生方にご講演をいただき、さまざまな視点から「EUとアジア」を考えてみたいと思います。

各大学のローカルに根ざした優れた学術文化・伝統歴史などを発信していただき、そして、相互に刺激し合い理解を深めることにより、グローバル化につながる有意義な機会になることを確信しております。最後に皆さまのご活躍と3大学のますますの発展、そして、3大学合同シンポジウムを通じ、それぞれの国と国との交流が一層の深みと広がりを持つことを祈念いたします。



① 福岡大学新聞副学長
② ルーヴァン・カトリック大学
ベルナルド・ステヴェンス: 哲学・文学部教授
③ 蔚山大 蔚山校
陳 廣現: 国際交流院長
④ ルーヴァン・カトリック大学
ジョルジュ・ジャック: 哲学・文学部教授



シンポジウムと名 発表者氏 シ発表



5月1日(日)

「現代芸術
—西洋と東洋の交差点で—」
ルーヴァン・カトリック大学
哲学・文学部教授
ベルナルド・ステヴェンス

「Why Shakespeare Again in
the 21st Century?」
蔚山大 蔚山校国際交流院長
陳 廣現

「禅の思想と抽象芸術
—ドゥブレ、クラン、禹煥—」
ルーヴァン・カトリック大学
イマジネール・研究センター研究員
オリヴィエ・アムール・マイユール

「北朝鮮の核問題と日本の戦略」
蔚山大 蔚山校政治外交学教科教授
李 命守

「One Money for Europe?」
福岡大学経済学部教授
マリウシユ・コンラッド・クラフチック

「アジアにおける経済共同体
構想の行方—何を共有するのか—」
福岡大学商学部助教授
松永 達

5月2日(月)

「日本語とフランス語
—ステレオタイプ、イメージ、
借用表現—語彙論的、
辞典編纂法的概説」
ルーヴァン・カトリック大学
哲学・文学部教授
ジャン・ルネ・クラン

「グループ英語研修の効果分析」
蔚山大 蔚山校英米語文学部助教授
安 璋允

「様々なテキストをフランス語で書く
—日本人はどのように
取り組むのか—」
ルーヴァン・カトリック大学
哲学・文学部教授
フランシヌ・ティリオン

「法の継受とその定着」
福岡大学副学長
新聞 輝夫

「西欧からの衝撃に対する
韓日両国の対応
—基督教の受容問題を中心に—」
蔚山大 蔚山校政治外交学教科教授
柳 鐘善

「クローデルの極東
—エグゼティスムと自己の発見—」
ルーヴァン・カトリック大学
哲学・文学部教授
ジョルジュ・ジャック

「EUの労働力移動政策とアジア」
蔚山大 蔚山校法学科教授
呉 文玩

「市場と国家の弁証法」
蔚山大 蔚山校経済学教科教授
金 勝錫

4 情報化基本構想プロジェクト

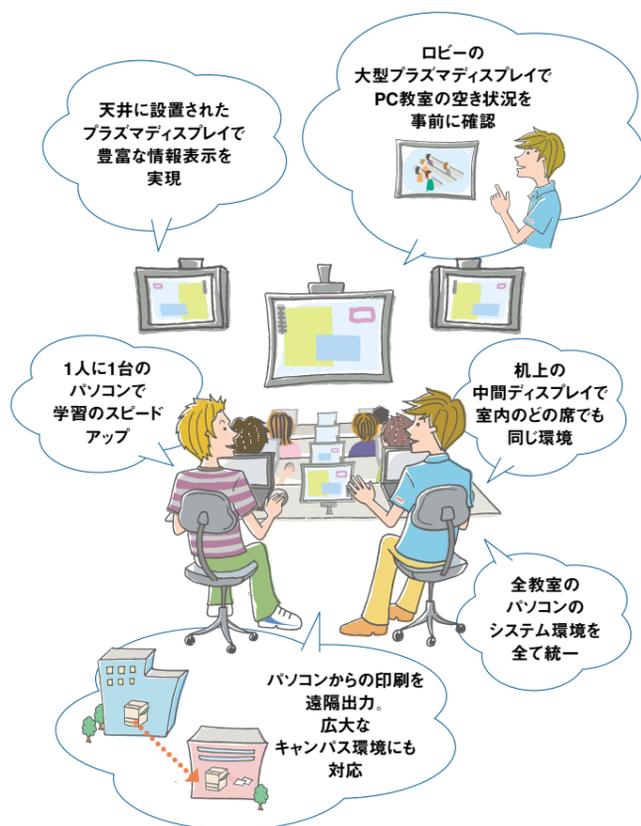


人に優しい情報環境の実現を目指して
情報化基本構想

必要なとき、いつでも、どこでも。

図書館システム編 教育研究システム編

なるほど、新システム! (授業と学習)



教育研究システムは、本学キャンパスIT化構想の基幹をなすものです。言い換えればすべての分野のITシステムに関わるものです。

本学の超高速LANはFUTURE (Fukuoka University Telecommunication Utilities for Research and Education)の愛称で親しまれています。今回のIT化構想では、このFUTUREの発展型、FUTURE3の各サブシステムが基本になります。

○情報ネットワークシステム
本学の教育・研究・医療・事務の各業務を支える基本情報インフラとしての機能を実現します。

○情報処理システム
研究目的のコンピューティング環境、電子メール、Webなどの各種情報処理サービスを提供します。

○情報処理教育システム
PC実習室などのPC、付属設備各サーバから構成され、情報処理教育やさまざまな教育に利用できる教育環境を提供します。

たとえば、PC教室では1人に1台のパソコン、2人に1台の中間モニター、天井に設置された大型プラズマディスプレイ、そして教室前面に大型スクリーンが設置され、これらに教材が提示されます。また、印刷はすべてカラー出力が可能となります。

教育研究システム編 必要なとき、24時間アクセスできる!

なるほど、新システム!



これまでの図書館は、書物を中心として、資料、情報資源を収集・蓄積・提供する機関であり、大学図書館もまた書物を中心にその研究・教育・学習支援を行ってきました。

しかし、現在は情報資源、情報形態、通信手段などが大きく変化し、発展しています。図書館にも、インターネットを経由したさまざまなデジタル情報資源に対して高速で網羅的、体系的に情報収集の支援を行うことが求められています。このような状況を踏まえ、図書・雑誌など印刷された資料の利用サービスの

拡充を図るとともに、電子図書館機能を強化したオンラインサービスを展開し、ハイブリッドな図書館環境を整え、ハードとソフトの両面から複合的サービスを実現していきます。

また、迅速・正確・網羅的な学術情報アクセスを実現する、高度で快適な研究・教育・学習支援システムを用意し、皆さんの正課教育のサポートや学内IT化に伴うキャンパスコミュニケーション機能の充実、生涯教育や社会教育のニーズに応えるサービスの展開、学内外のさまざまなネットワークとの連携強化など、

図書館システム編 電子図書館機能強化でハイブリットなサービスを!

利用者主体のライブラリーシステムサービスの構築を目指します。

Information

前期定期試験開始後、夏季休業終了まではキャンパス内のほとんどのPC教室が利用できません。

※但し、一部利用できるものもあります。詳細は総合情報処理センターのホームページをご覧ください。



ワーキンググループリーダー
吉村賢治 工学部教授

IT社会におけるモラルも学んでほしい。

キャンパスIT化により、皆さんはIT化社会を学生時代から実感・体験することができるようになります。現在進めている、プリンター全機のカラー化、PC教室の環境改善、eラーニング教材の開発など、ハードとソフトの充実が逐次実現すれば、その機会はますます増えていくことでしょう。私どもは、その機会を利用してIT化社会の基本的モラルも修得してほしいと思います。それは21世紀社会には必要不可欠なものになるはずです。

Information

図書館システムは8月1日(月)から31日(水)まで停止します。

※但し、貸出・返却など平常どおりサービスしています。詳細は図書館のホームページをご覧ください。



ワーキンググループリーダー
高木秀人 医学情報課長

今までの図書館サービスは、図書・雑誌の利用を中心にほとんどが「図書館に来てから受けるサービス」でした。しかし、電子図書館機能の整備・強化によってこれからは「いつでも、どこでも、そこが図書館」というものになるでしょう。

(2005年9月から順次導入予定)

福岡大学病院が脳死肺移植の実施施設に認定

平成17年5月31日付、移植関係学会合同委員会は脳死肺移植の実施施設として、新たに福岡大学を含む4大学の病院を認定しました。

九州では福岡大学並びに長崎大学が認定施設となりました。移植手術は、本院外科第二（白日高歩教授）の呼吸器外科グループにより、今後、実施される見通しです。

福岡大学創立75周年記念事業シンボルマークの募集

本学は2009年に創立75周年を迎えます。その記念事業を推進するため「シンボルマーク」を募集中です。応募期間は7月29日まで。応募資格は、在学生、ご父母、卒業生、職員です。入選者には賞状と賞金が贈呈されます。詳細は本学ホームページをご覧ください。なお、在学生の皆さんには、募集要項と応募受付BOXを学生課に用意しています。

喫煙マナーアップキャンペーンが行われる

5月17日から23日にかけて、喫煙マナーアップキャンペーンが実施されました。一日に4回、本学教職員と学生の代表者がキャンパス内を巡回し、指定区域外での喫煙や歩きタバコなどを注意しながら、所々に捨てられた吸殻を回収しました。今回で4回目となりますが、回を重ねるにつれ喫煙者のマナーも改善されていることがうかがわれます。

なお、喫煙マナーのさらなる向上を目指して、喫煙マナーアップキャンペーンは今後も定期的に行われる予定です。



日本陸上競技選手権大会で優勝

6月4日、「第89回日本陸上競技選手権大会」の女子400m障害決勝で、本学スポーツ科学部2年次生の櫻井里佳さんが57秒99のタイムで見事優勝を、スポーツ科学部1年次生の澤田実希さんが4位に入りました。

また、男子110m障害決勝では、スポーツ科学部4年次生の野元秀樹さんが6位入賞を果たしました。みなさん、おめでとう！



学長に優勝報告。左は山崎一彦陸上部助監督（短距離・障害）

伊東正則名誉学長が瑞宝重光章を受章

今年の春の叙勲で、伊東正則名誉学長が瑞宝重光章を受けられました。これは同名誉学長が、長年にわたり高等教育と私学経営の両面に携わり、本学の充実発展に貢献するとともに、福岡大学を通じて教育界・地域社会の発展に寄与した功績によるものです。

市民カレッジにオリンピック選手が激励に!

5月28日、本学エクステンションセンターが開講している「キッズのための陸上教室」に、男子400mハードル日本記録保持者でアテネオリンピック代表の為末大選手が小学生たちを激励に来てくれました。同日まで福岡大学で合宿しており、同講座の講師、山崎一彦スポーツ科学部講師と親交があったことから実現したものです。未来のオリンピック選手を夢見て、スポーツの原点である陸上競技のあれこれに挑戦している子どもたちにはとても励みになりました。

給費奨学生の授与式が行われる

6月13日、本学の給費奨学生への授与式が行われました。これは返還義務のない奨学金を、「人物と学業ともに特に優れ、かつ経済的理由のために修学困難な学生で、課外活動（学友会・資格取得・ボランティア等）においても特筆すべき内容の活動を行っている者」を対象に給付するもので、本年度は87人の志願者の中から、学生部委員会の選考により27人が採用されました。



「学生のための普通救命講習会」が開催される

6月11日・18日の両日、城南消防署にて「学生のための普通救命講習会」が開催されました。内容は急性アルコール中毒、交通事故時の応急手当など。応急手当、心肺蘇生の基礎知識に関する講義の後、実際にダミー人形を使っての心肺蘇生法及び電気ショックを与える機器AED（自動体外式除細動器）の使用方を学びました。本学の学生たちは、いざという時の落ち着いた判断・処置が生死を分かつことを理解したようで、みな真剣に講習を受けていました。



松藤康司工学部教授が「環境貢献賞」を受賞

5月14日、福岡国際ホールにて「ソロプチミスト日本財団『環境貢献賞』受賞記念シンポジウム」が開催されました。これは、本学の松藤康司工学部教授が同財団から『環境貢献賞』を贈られたことを記念して行われたものです。

松藤教授による、「紙おむつリサイクルシステムの意義と今後の展望」と題した基調報告の後、「紙おむつのリサイクルとファッション」をテーマに円卓会議も行われました。会場に詰め掛けた150人を超える参加者は、紙おむつをリサイクルするという奇想天外な発想に感心するとともに、身近な問題として真剣に聴き入っていました。

なお、ソロプチミストとは1921年、米国カリフォルニア州オークランドに誕生し、現在世界中で10万人の会員を有するボランティアグループのことで、女性の地位向上、国際理解と親善・平和の推進、地域社会への貢献を目的に、日本では約500クラブ、15,000人の会員が活躍しています。



「在学生との懇談会」を開催

5月9日、福岡国際ホールにて「平成17年度在学生との懇談会」が開催されました。これは、福岡大学同窓会社団法人有信会が昭和38年から主催しているもので、今回は在学生220人余を含む総勢約400人が参加しました。有信会からは井口理事長をはじめ、各理事、一般会員のほか、各界各層で活躍中の会員も特別招待されました。大学側からは菊池副学長、各学部長、教務部長、学生部長らの役職者をはじめ、学術文化部会および体育部の部長、監督らが出席し、在学生は、学友会リーダーを中心とした各クラブの学生のほか、一般学生、留学生なども出席しました。

満場となった会場では、先輩方にアドバイスをもらう在学生の姿も見られるなど、終始、和やかな雰囲気の中で懇談が続きました。



工学部建築学科 開設40周年記念講演会を開催

工学部建築学科が昨年4月に開設40周年を迎えたのを記念して、4月28日、「近作を語る」をテーマとした建築家、伊東豊雄氏による記念講演会が831教室で開催されました。建築学科関係者のほか、同学科同窓会『慧揚会』の会員や一般参加者は熱心に耳を傾けていました。



「花とくらしの絵コンクール」表彰式が本学で開催

5月7日、「花とくらしの絵コンクール」の表彰式が本学の60周年記念館（ヘリオスホール）にて開催されました。城南区「花みずき通り商店会」が地域活性化の一環として、「花とくらし」をテーマにした絵画を募集したところ1,180点の応募があり、当日は最優秀賞、花みずき通り商店会会長賞、福岡大学学長賞などの表彰が行われました。

なお、応募作品は「花みずき通り美術館」として、同商店街のほか、地下鉄七隈線「福大前」、「七隈」、「金山」の各駅構内などに5月20日まで展示され、買い物客らの目を楽しませていました。



薬学部開設45周年記念講演会を開催

薬学部が本年、開設45周年を迎えたのを記念して、4月30日、例年同時開催の福岡大学市民カレッジ「薬学部卒業教育講座」が記念講演会として開催されました。「福岡大学薬学部における教育・研究の過去、現在、未来」をテーマに占野廣司薬学部教授が、「福岡大学薬学部同窓生に望まれるこれからの薬剤師像」をテーマに山田勝士鹿児島大学薬学部・歯学部附属病院薬剤部長がそれぞれ講演を行いました。会場となった薬学部棟（16号館）では、その充実した設備に感心しながらも、旧友との昔話を花を咲かせる卒業生の姿がこちらで見受けられました。



東京事務所が移転

5月21日、本学の東京事務所が下記のとおり移転しました。

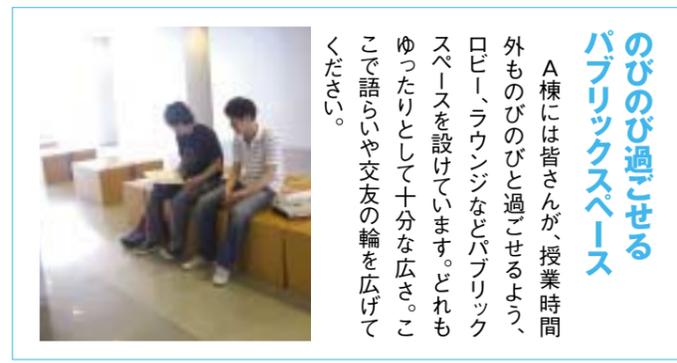
所在地：東京都港区虎ノ門二丁目9番14号 虎ノ門互助会ビル本館4階 電話番号：03-3501-6629（変更なし）

知っていると、知らないところ、知らないところ、広大なキャンパスは宝の山。君も福大生ならすべてを体験しよう。

創立60周年記念事業の一環として建設。大小合わせて57教室を持つ。

本学創立60周年記念事業の一環として建設されたA棟。地下2階、地上8階建てのスケールが大きな建物です。延べ床面積は12,050㎡。大小合わせて57の教室があり、一度に約5,500

人を収容できます。地階には商学部事務室とエクステンションセンター事務室があります。なお、商学部事務室では、第二部を含めた窓口業務を行っています。



のびのび過ごせるパブリックスペース

A棟には皆さんが、授業時間外もののびのびと過ごせるよう、ロビー、ラウンジなどパブリックスペースを設けています。どれもゆったりとして十分な広さ。ここで語らいや交友の輪を広げてください。

A棟

▲学生部事務室棟1Fにある学生課

外国人留学生を受け入れる、インターナショナルな施設。



第一記念会堂や一般グラウンド前の道路を渡り、南へ坂道をゆくり登って約5分ほど。豊かな緑の中に建っているのが国際交流会館です。地下1階、地上4階の国際交流棟と、地下1階、

地上3階の合宿研修棟・管理棟で構成されています。個室だけでも珍しい、インターナショナルな施設です。

女子学生も入居できる個室

国際交流棟は、外国人留学生だけでなく日本人の男女学生も入居できます。入居期間は4月から翌年3月までの1年間。ただし、1年間に限り延長を認めることがあります。パ

ス・トイレ・ベッド・冷蔵庫・エアコンなどが付いた快適仕様。なにより、国際交流を日常生活の中で経験できるのが大きな魅力です。大学が管理運営を行っているのです、その点でも安心です。お問い合わせは厚生課へ。

国際交流会館



KURUKURU Spot

キャンパスのユニークスポットを、あまり知られていないエピソードを交えて紹介。これを読んだら行きたくなる!



正門跡

1942年頃、本学の前身の「福岡高等商業学校」時代に造られた正門がキャンパス内に残っています。場所は、西鉄福大前バス停から、さらに南に進んだ第一記念会堂あたり。探検気分ですべて探してみてください。



建学の碑

本学創立50周年記念事業の一環として建設された碑。文系センター棟前庭に建っています。碑の石は、北海道夕張産のチャート（堆積岩）。重量35トン。その優雅さと大きさで、今後同様の石が産出することはないだろうと、当時から言われていました。ところで建学の精神、皆さんはもちろんご存知ですよね。

窓口 インフォメーション

「学生課」

学生生活の全般的な相談に応じます!

皆さんの学生生活のいろいろな相談に応じるとともに、本学が教育の一環として推奨する課外教育活動の指導、助言にあたります。

3階には、ヒューマンディベロップメントセンター（HDセンター）があり、さまざまな心の悩みや不安を専門のカウンセラーが親身になって受け止め、心の成長を側面から支援します。相談の秘密は堅く守りますので、安心して相談してください。



編集後記

この4月、広報課への異動とともに、学園通信（FD）の制作を担当することになりました。これまで何気なく眺めていた程度でしたが、いざその制作に携わることになると、学内外を問わず取材やカメラ撮影に出掛ける機会が多く、新たな経験の毎日でした。

また、編集にあたっては、取材に快く応じていただいたOBの近藤鉄太郎氏をはじめ、先生方や学生の皆さん、また、各部署の協力なくしては成り立たないことを痛感いたしました。ご協力いただいた関係者の方々に、この場を借りてお礼を申し上げます。

何もない状態から何かを創り上げるというのは思っていた以上に大変なことです。学内での催事や出来事を、いかにわかりやすく、タイムリーに読者に伝えることができるか。まさに情報収集力が問われます。

これからも、常にアンテナを張り巡らせながら、より多くの学生の皆さんに読んでいただき、次の号が待ち遠しいと思ってもらえるようなものを発行していければ、と身の引き締まる思いでいっぱいです。



▲近藤鉄太郎氏を取材するFD編集スタッフ

FD Vol.10

Fine Dream
Summer.2005
編集・発行
福岡大学広報委員会
〒814-0180
福岡市城南区七隈八丁目19-1
TEL092-871-6631(代)
http://www.fukuoka-u.ac.jp/
印刷 凸版印刷株式会社